

**2024年**

# 性的マイノリティのトイレ利用に関する アンケート調査

調査：TOTO株式会社

協力：株式会社 LGBT総合研究所



# 調査レポート公開にあたり

## 多様なジェンダーアイデンティティの視点でトイレを考えてみること

性別は男性と女性の2区分ですが、性のあり方は多様です。

ジェンダーアイデンティティとは、出生時戸籍性に対する性自認の同一性を指しますが、トランスジェンダーは、このジェンダーアイデンティティにおけるマイノリティで、出生時戸籍性と異なる性自認の人を指します。

トランスジェンダーにも多様性があり、性自認が男性・女性という二元論に限られる話ではなく、中性、両性、無性、不定性の方もいます（本レポートではXジェンダーと定義）。またそれぞれが感じる違和感についても、強く感じる方もいれば、少し感じるという方もいて、その程度も各々異なるのです。

こうした、性自認の多様性がまだまだ認識されていない中、それぞれの性自認において、どのようにトイレを利用し、どのようなことに不安や困難を感じるのかを知ることは重要です。

例えば、トランスジェンダーの方々の中には、周囲の視線を気にしてトイレに入れなかったり、身体性に基づいて利用をしているのに他の利用者から叱責されたり、こうした経験からトイレを我慢して排泄障害になってしまうなどの実態もあります。一方、トランスジェンダーに該当しないシスジェンダーの人たちの中には、トランスジェンダーの方々が生近ではなく、不安に感じる方もいます。

多くの人々が利用するパブリックトイレにおいて、誰もが安心・安全に利用できるために、どのようなトイレが望ましいかを考えていくためにも、まずはマジョリティ・マイノリティそれぞれの視点や考えを知ることから始めていくことが重要です。誰もが安心・安全に使えるトイレを目指していく第一歩として、本レポートをご活用いただければ幸いです。

株式会社 LGBT総合研究所  
代表取締役 森永 貴彦

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

---

# 1 調査概要

---

## 2 調査結果

- 2-1 トイレの利用実態
- 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ
- 2-3 男女共用個室トイレの利用意向
- 2-4 男女共用個室トイレへの理解

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 1 調査概要

## 調査背景

TOTOは一人でも多くの方が快適に安心して利用できるパブリックトイレ※の実現を目指している。2015年頃から性的マイノリティ、中でもトランスジェンダーに性別問わずにトイレを利用したいニーズがあることがわかってきた。近年ではトランスジェンダーのみならず、高齢者や発達障がい者の中にも異性による介助者や同伴者を伴ってトイレを利用する場合に男女共用トイレが求められている。

## 調査目的

利用しやすいパブリックトイレのあり方を検討するため、外出先トイレの利用実態やトイレ利用時のストレス、ニーズなどに関するジェンダーアイデンティティの視点で比較分析可能な調査を実施した。また、顔見知りの人がない交通施設や商業施設のトイレ利用と顔見知りの人があるオフィス・職場のトイレ利用ではニーズが異なる可能性があるため、建築用途別に確認した。だれもが外出しやすく社会参加しやすい環境整備の一助となることを目指している。

## 調査対象

トランスジェンダー／シスジェンダー

- ・20歳以上
- ・交通施設・商業施設／オフィス・職場を半年に1回以上利用

## 調査方法

インターネット調査

## 調査対象エリア

全国

## 回答数

- 2,000名
- ・トランスジェンダー  
1,000名
  - ・シスジェンダー  
1,000名

## 調査時期

2024年8月30日～9月19日

## 調査協力

株式会社 LGBT総合研究所

※ 商業施設、交通施設、オフィス、学校など、住宅以外のあらゆる施設のトイレをTOTOではパブリックトイレと呼んでいます。

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 1 調査概要

## 本調査におけるセクシュアリティの分類と割付設定

- ・トランスジェンダー・シスジェンダーを対象に割り付け設計し、同一設問で聴取し比較分析を行った
- ・本資料中のトランスジェンダー・シスジェンダーは便宜上、トランス・シスと表記する場合がある

抽出条件		トランスジェンダー				シスジェンダー	
		生まれたときに割り当てられた性別と性自認が異なる				生まれたときに割り当てられた性別と性自認が一致している	
生まれたときに割り当てられた性別		男性		女性		男性	女性
性自認		女性	※ 中性 両性 無性 不定性	男性	※ 中性 両性 無性 不定性	男性	女性
セクシュアリティ		MtF	MtX	FtM	FtX	シス男性	シス女性
回収数	20代	50	50	36	51	100	100
	30代	50	50	75	50	100	100
	40代	50	50	44	51	100	100
	50代	50	50	58	50	100	100
	60代以上	50	50	35	50	100	100
	計	250	250	248	252	500	500
		500		500		500	500
		1,000				1,000	

※【中性】男性、女性の間、【両性】男性、女性の両方、【無性】男性、女性、中性、両性でなく性がない、【不定性】時により変化する

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 用語解説

## トランスジェンダー

生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性自認を持つ人  
※トランスジェンダーの中にはいろいろな人がいます。すべてのトランスジェンダーが性別適合手術やホルモン治療を望むとは限りません。

**MtF**  
( Male to Female)

生まれたときに割り当てられた性別は男性だが、性自認は女性という人

**MtX**  
(X : Xジェンダー)

生まれたときに割り当てられた性別は男性だが、性自認が男性でも女性でもある、または男性でも女性でもない、男性と女性の間など、定型的な性自認に当てはまらない人

**FtM**  
( Female to Male)

生まれたときに割り当てられた性別は女性だが、性自認は男性という人

**FtX**  
(X : Xジェンダー)

生まれたときに割り当てられた性別は女性だが、性自認が男性でも女性でもある、または男性でも女性でもない、男性と女性の間など、定型的な性自認に当てはまらない人

## シスジェンダー

生まれたときに割り当てられた性別と性自認が一致する人

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

---

# 1 調査概要

---

## 2 調査結果

- 2-1 トイレの利用実態
- 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ
- 2-3 男女共用個室トイレの利用意向
- 2-4 男女共用個室トイレへの理解

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

## 2 調査結果 調査項目一覧

- ・調査項目と設問内容および各設問において対象とする建築用途ならびに回答者属性の一覧
- ・設問によっては交通施設・商業施設またはオフィス・職場の建築用途別に聴取した
- ・設問によってはトランス・シス両方またはトランスのみに聴取した

調査項目	設問内容		建築用途		回答者属性	
			交通施設 ・商業施設	オフィス ・職場	トランス ジェンダー	シス ジェンダー
1. トイレの利用実態	Q1	利用したことのあるトイレ	●	●	●	●
	Q2	男女共用トイレ利用の理由	●	●	●	●
	Q3	バリアフリートイレ利用の理由	●	●	●	●
	Q4	バリアフリートイレ利用時の気兼ね	●	●	●	●
2. トイレ利用のストレスと 利用したいトイレ	Q5	外出先トイレ利用時のストレス	—	—	●	—
	Q6	男女別トイレのストレス	—	—	●	—
	Q7	男女別トイレしかない場合の対応	●	●	●	—
	Q8	男女別トイレ利用への違和感	—	—	●	—
	Q9	性別を自認した時期	—	—	●	—
	Q10	利用したいトイレ	●	●	●	—
3. 男女共用個室トイレの 利用意向	Q11	男女共用個室トイレの利用意向	●	●	●	●
	Q12	利用しない理由	●	●	●	●
	Q13	防犯面での不安の軽減	●	●	●	●
	Q14	利用する条件	●	●	●	●
	Q15	ほしい設備	—	—	●	●
	Q16	トイレの呼称	—	—	●	●
4. 男女共用個室トイレへの 理解	Q17	性的マイノリティの認知度	—	—	●	●
	Q18	トランスジェンダーの困りごとの認知度	—	—	●	●
	Q19	異性介助・同伴者の困りごとの認知度	—	—	●	●
	Q20	男女共用個室トイレへの賛意	—	—	●	●

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-1 トイレの利用実態

- トランスジェンダーは属性にかかわらず、シスジェンダーに比べてバリアフリートイレや男女共用トイレを利用したことがある人が多い。

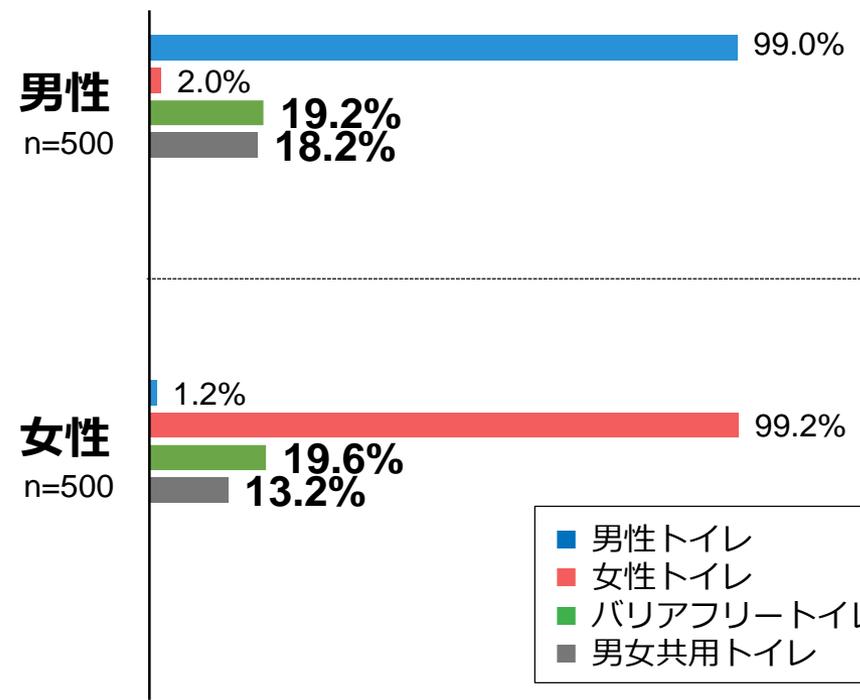
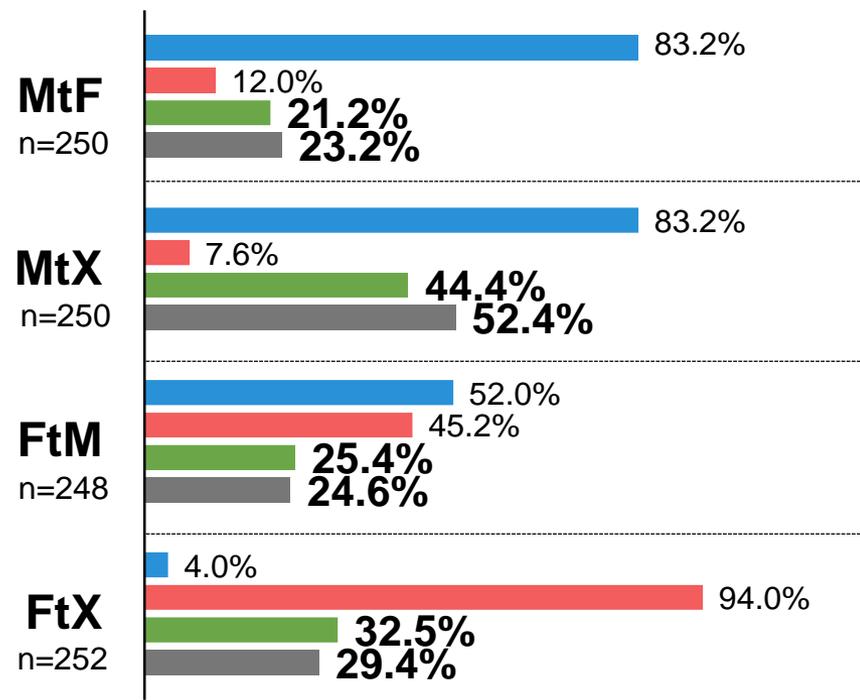
交通・商業

(複数回答)

Q1 | あなたが利用したことのあるトイレを教えてください。

## トランスジェンダー

## シスジェンダー



- 男性トイレ
- 女性トイレ
- バリアフリートイレ
- 男女共用トイレ

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-1 トイレの利用実態

- トランスジェンダーは属性にかかわらず、シスジェンダーに比べてバリアフリートイレや男女共用トイレを利用したことがある人が多い。

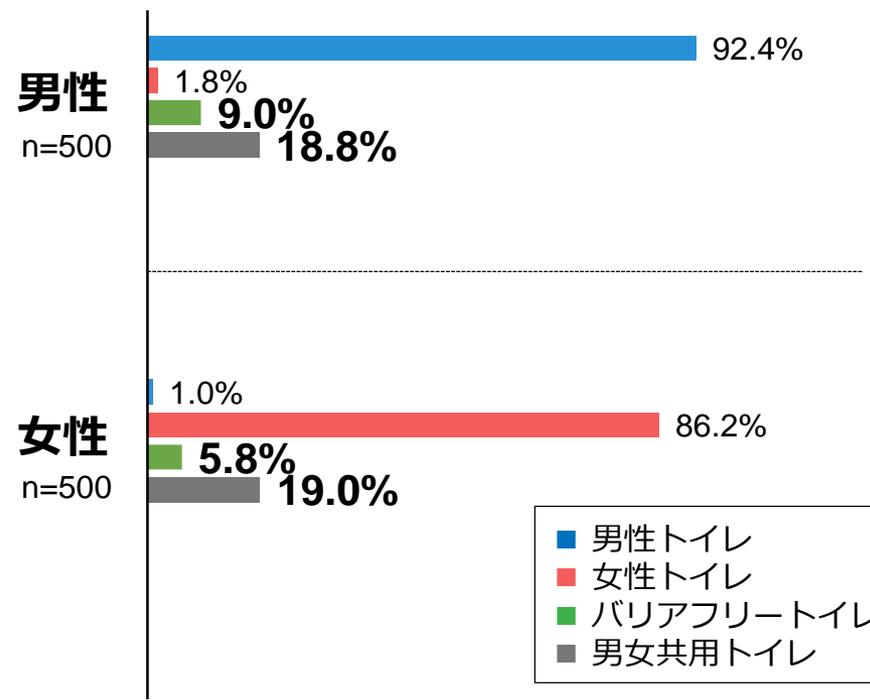
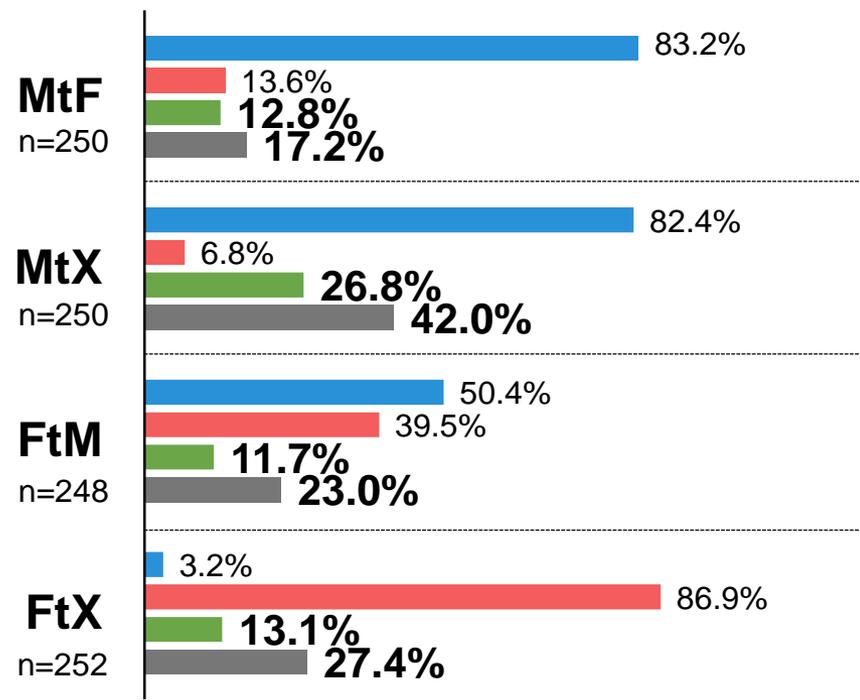
オフィス・職場

(複数回答)

Q1 | あなたが利用したことのあるトイレを教えてください。

## トランスジェンダー

## シスジェンダー



- 男性トイレ
- 女性トイレ
- バリアフリートイレ
- 男女共用トイレ

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-1 トイレの利用実態

- 男女別トイレの混雑や男女別トイレがなかったことが理由として挙げられた。
- 「自身の性や性のあり方を人に知られず利用したかったから」「男女別に分かれているトイレを利用するのに抵抗があったから」で、トランスとシスの違いが顕著に表れた。

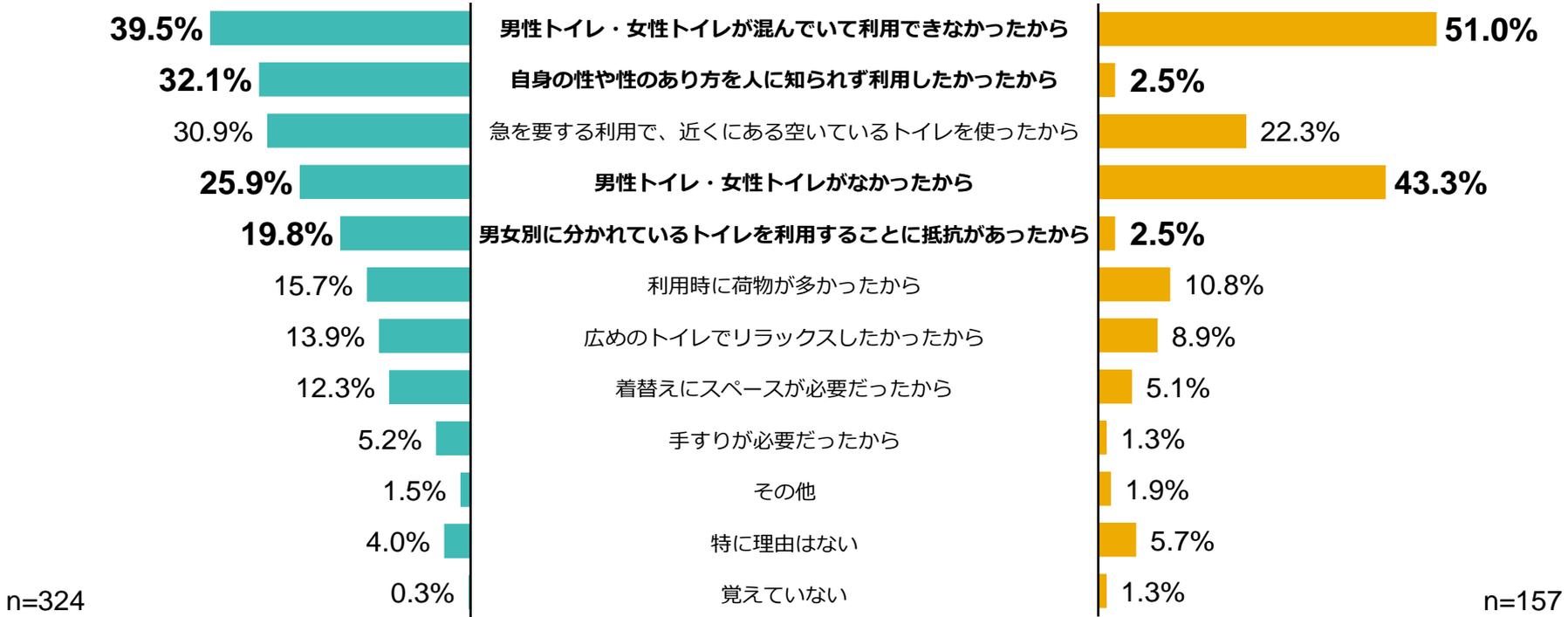
交通・商業

(複数回答)

Q2 | Q1で「男女共用トイレ」を利用したことがあると回答した人  
「男女共用トイレ」ご利用時の利用された理由を教えてください。

トランスジェンダー

시스ジェンダー



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-1 トイレの利用実態

- オフィス・職場では男女別トイレがない場合に男女共用トイレが利用されている。
- 「自身の性や性のあり方を人に知られず利用したかったから」「男女別に分かれているトイレを利用するのに抵抗があったから」で、トランスとシスの違いが顕著に表れた。

オフィス・職場

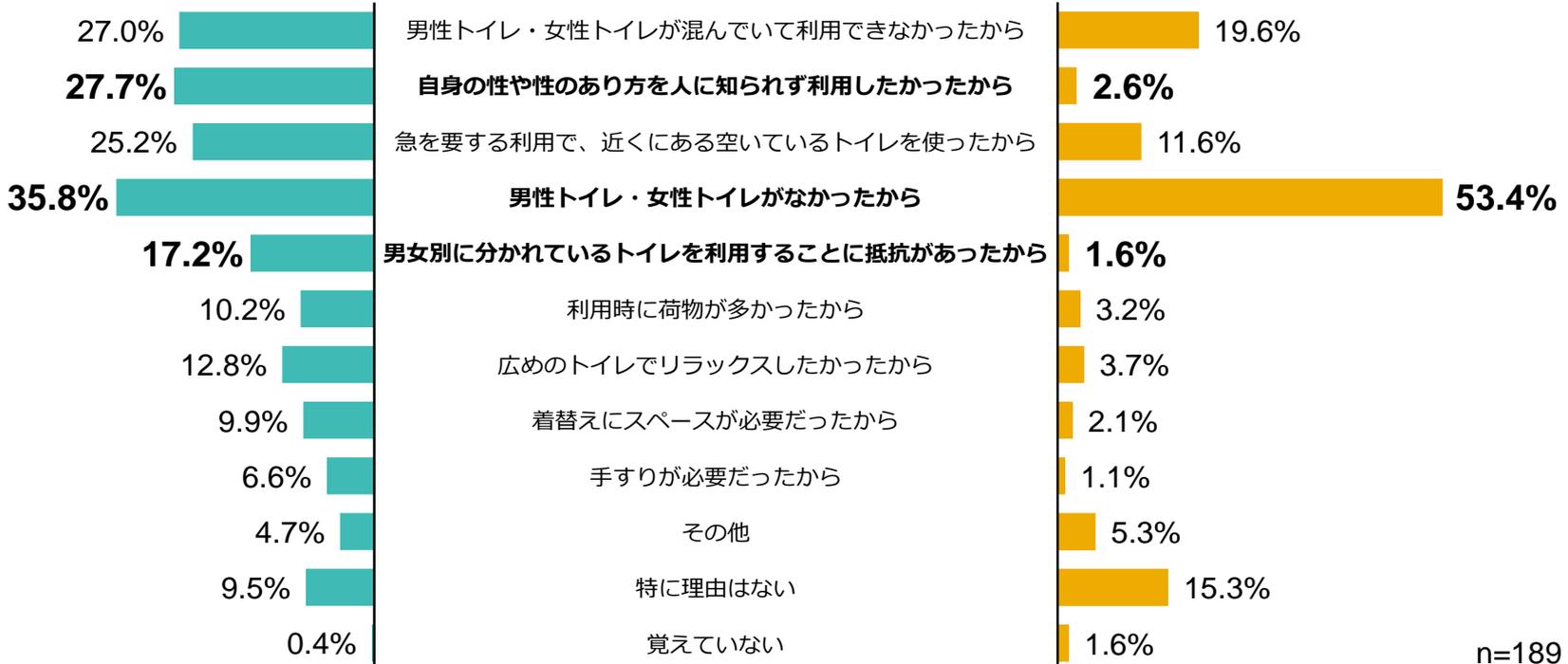
(複数回答)

Q2

Q1で「男女共用トイレ」を利用したことがあると回答した人  
「男女共用トイレ」ご利用時の利用された理由を教えてください。

トランスジェンダー

シスジェンダー



n=274

n=189

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-1 トイレの利用実態

- 「自身の性や性のあり方を人に知られず利用したかったから」「男女別に分かれているトイレを利用することに抵抗があったから」で、トランスジェンダーとシスジェンダーの違いが顕著に表れた。

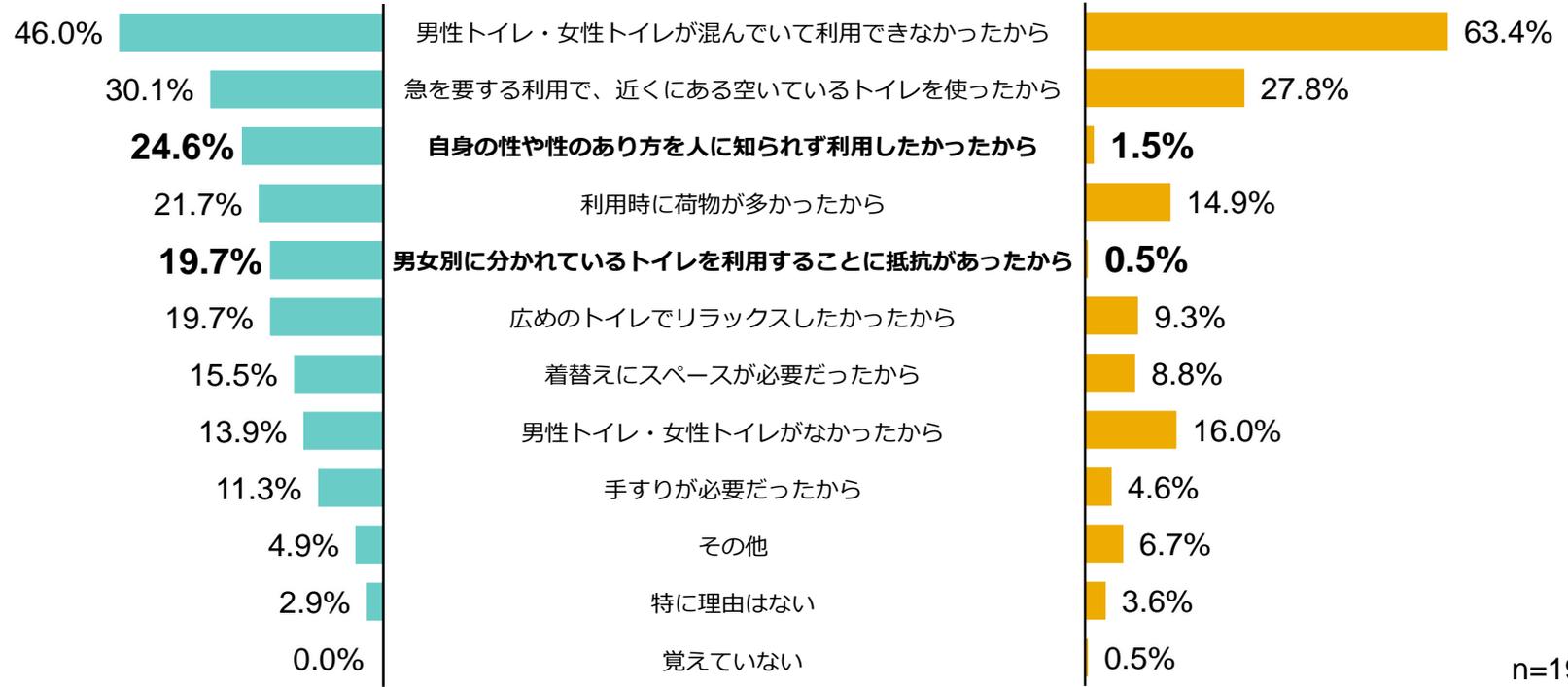
交通・商業

(複数回答)

Q3 | Q1で「バリアフリートイレ」を利用したことがあると回答した人  
「バリアフリートイレ」ご利用時の利用された理由を教えてください。

トランスジェンダー

シスジェンダー



n=309

n=194

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-1 トイレの利用実態

- 「自身の性や性のあり方を人に知られず利用したかったから」「男女別に分かれているトイレを利用することに抵抗があったから」で、トランスジェンダーとシスジェンダーの違いが顕著に表れた。

オフィス・職場

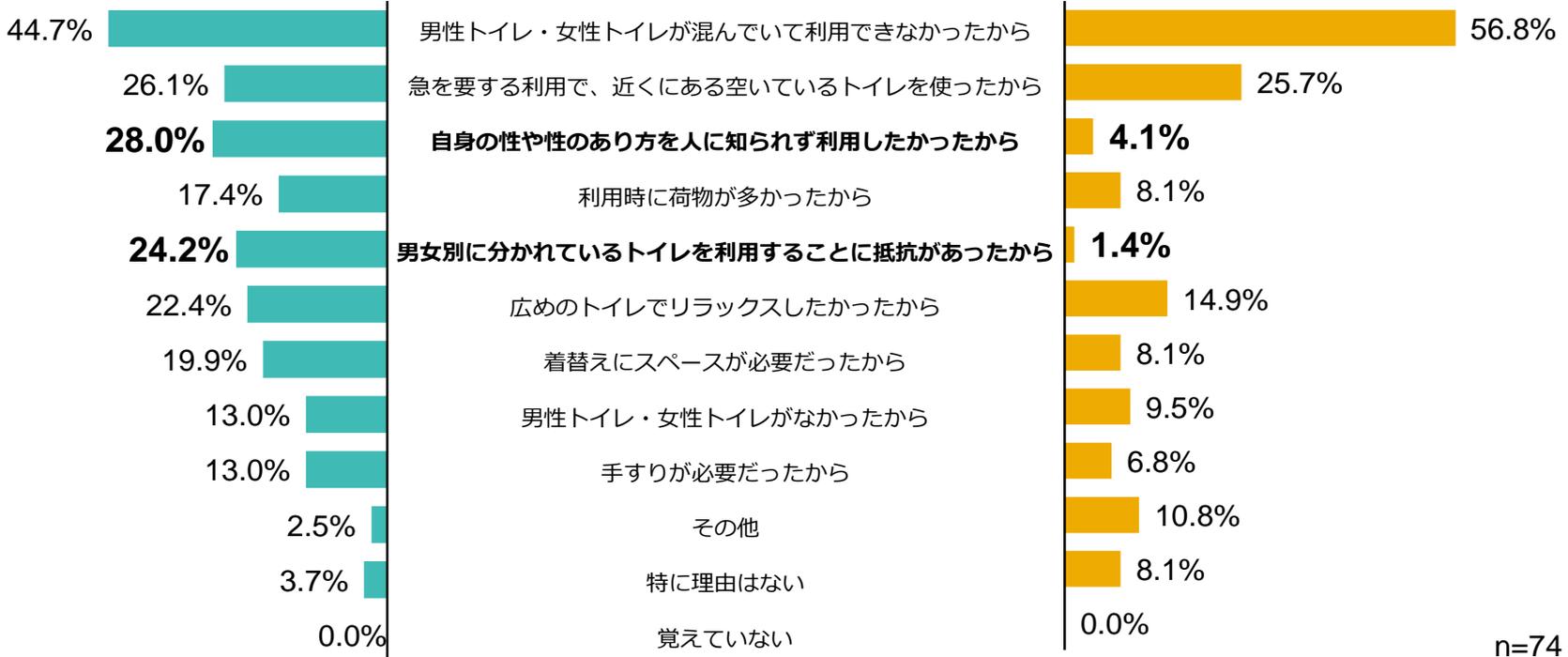
(複数回答)

Q3

Q1で「バリアフリートイレ」を利用したことがあると回答した人  
「バリアフリートイレ」ご利用時の利用された理由を教えてください。

トランスジェンダー

シスジェンダー



n=161

n=74

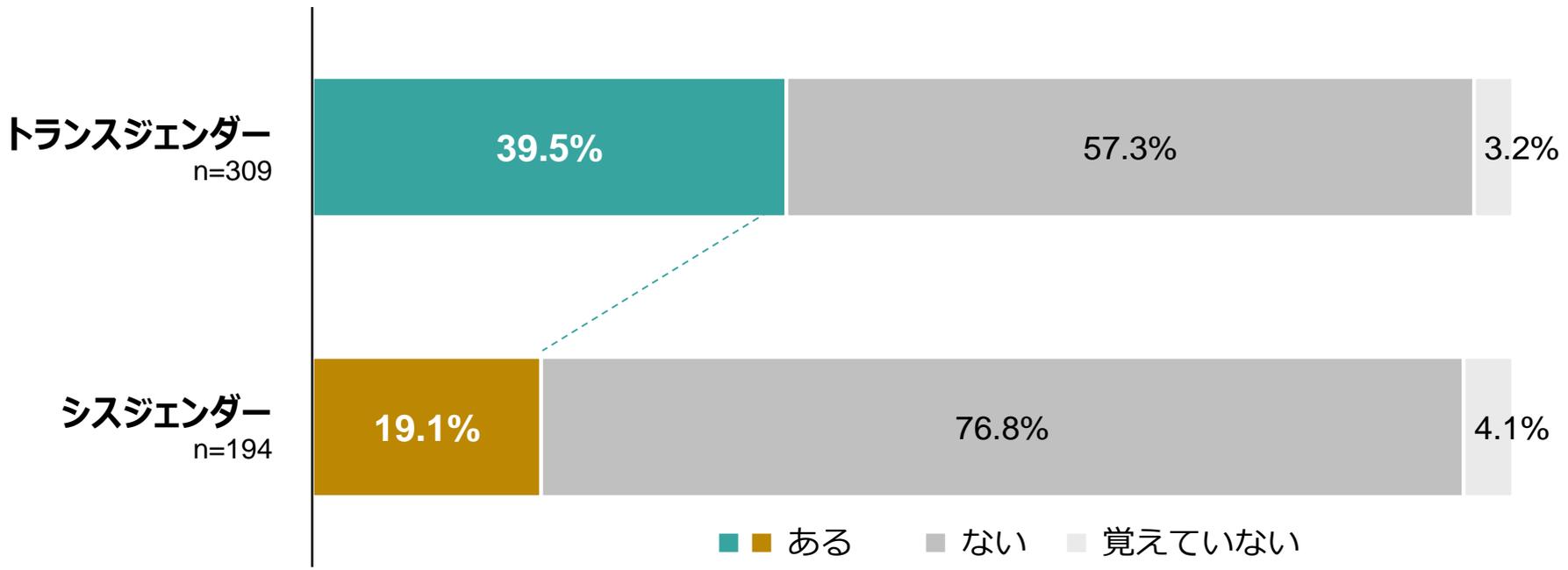
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-1 トイレの利用実態

- 気まずい思いを経験したトランスジェンダーは39.5%で、シスジェンダーに比べて20.4ポイント高い。
- バリアフリートイレの利用率が高く、気まずい思いをする機会も増えると考える。

## 交通・商業

**Q4** | **Q1で「バリアフリートイレ」を利用したことがあると回答した人**  
バリアフリートイレのご利用後に、車いす使用者やベビーカー利用者がドアの外に並んでいて気まずい思いをした経験はありますか。



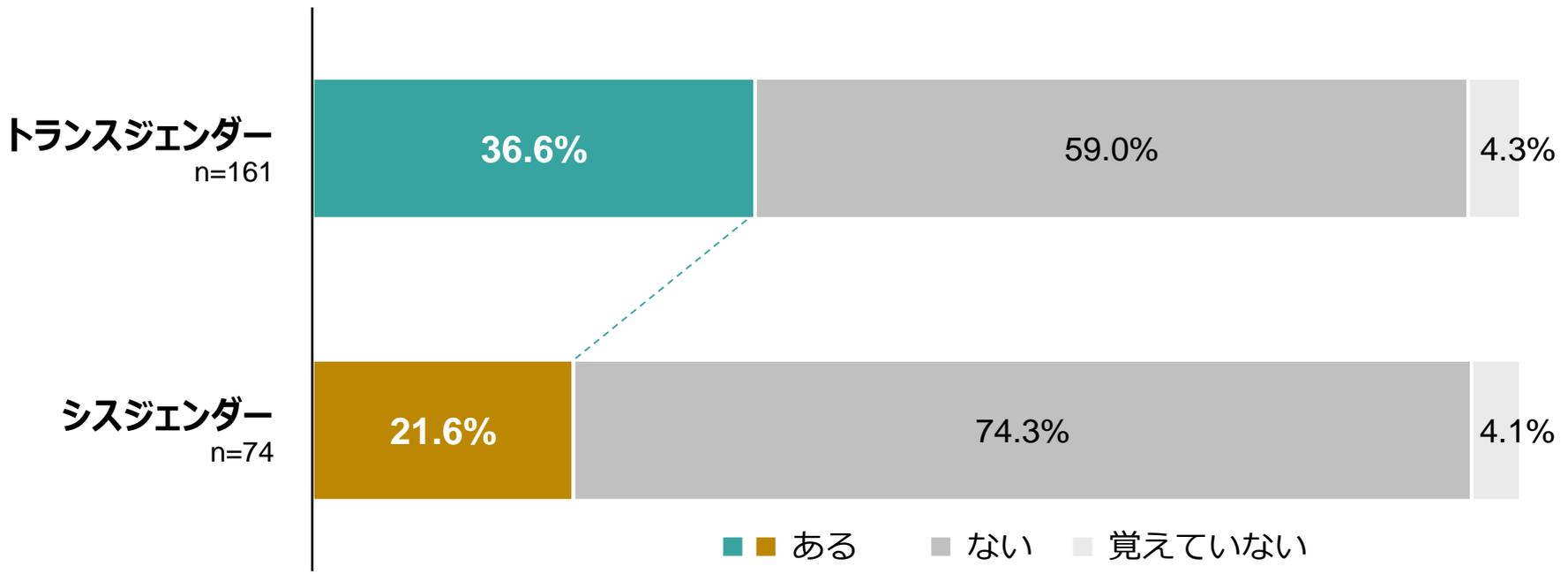
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-1 トイレの利用実態

- 気まずい思いを経験したトランスジェンダーは36.6%で、シスジェンダーに比べて15.0ポイント高い。
- バリアフリートイレの利用率が高く、気まずい思いをする機会も増えると考える。

オフィス・職場

**Q4** | **Q1で「バリアフリートイレ」を利用したことがあると回答した人**  
バリアフリートイレのご利用後に、車いす使用者やベビーカー利用者がドアの外に並んでいて気まずい思いをした経験はありますか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-1 トイレの利用実態

## まとめ①

- ・不特定の人が利用する交通施設や商業施設と、特定の人が利用するオフィス・職場では利用実態に違いがあると考え、建物用途別に確認をした。
- ・**トランスジェンダーはシスジェンダーに比べて『バリアフリートイレ』や『男女共用トイレ』を利用したことがある人が多い。特に交通施設・商業施設で利用したことがある人が多く、これは駅舎などで『バリアフリートイレ』が普及していることや小規模飲食店などで『男女共用トイレ』しか設けられておらず利用の機会が多いためではと推測される。(Q1)**
- ・トランスジェンダーが『バリアフリートイレ』や『男女共用トイレ』を利用する理由として、**自身の性や性のあり方を人に知られたくない気持ちや男女別に分かれているトイレへの抵抗感があるとの回答がシスジェンダーと比較して高く、性別を問わずに利用できるトイレが安心して利用できるトイレの選択肢となっていることが伺える。また、その傾向は特定の人が利用するオフィス・職場で高い。(Q2・Q3)**
- ・『バリアフリートイレ』**利用時は、車いす使用者やベビーカー利用者との遭遇もあり、気兼ねしながら利用していることが推測される。特に交通施設・商業施設でその傾向が高い。(Q4)**

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

---

# 1 調査概要

---

## 2 調査結果

- 2-1 トイレの利用実態
- 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ
- 2-3 男女共用個室トイレの利用意向
- 2-4 男女共用個室トイレへの理解

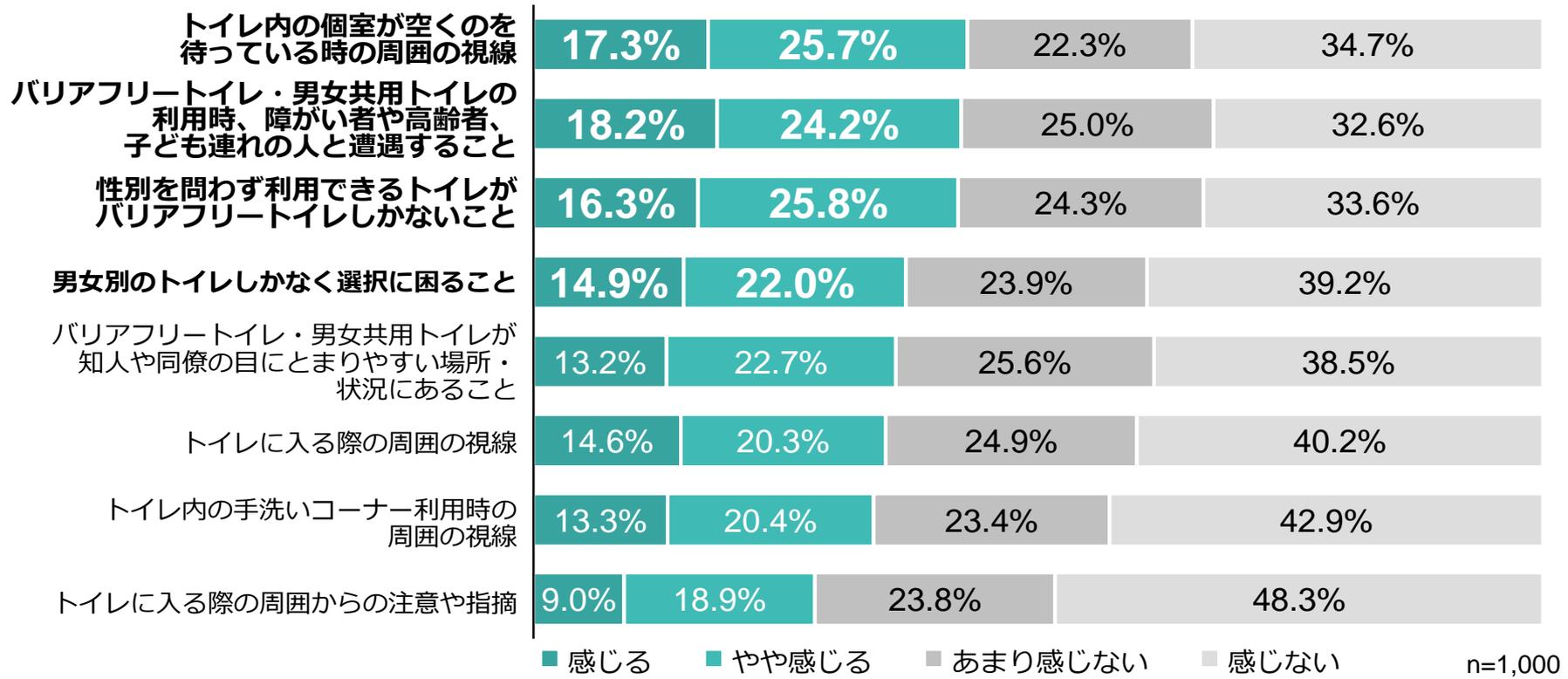
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- 「個室が空くのを待っている時の周囲の視線」「他の利用者と遭遇すること」「性別を問わずに利用できるトイレがバリアフリートイレしかないこと」「男女別のトイレしかなく選択に困ること」などにストレスを感じている。

## トランスジェンダー対象

Q5 | 外出先でのトイレ利用について：次にあげる内容でストレスを感じますか。



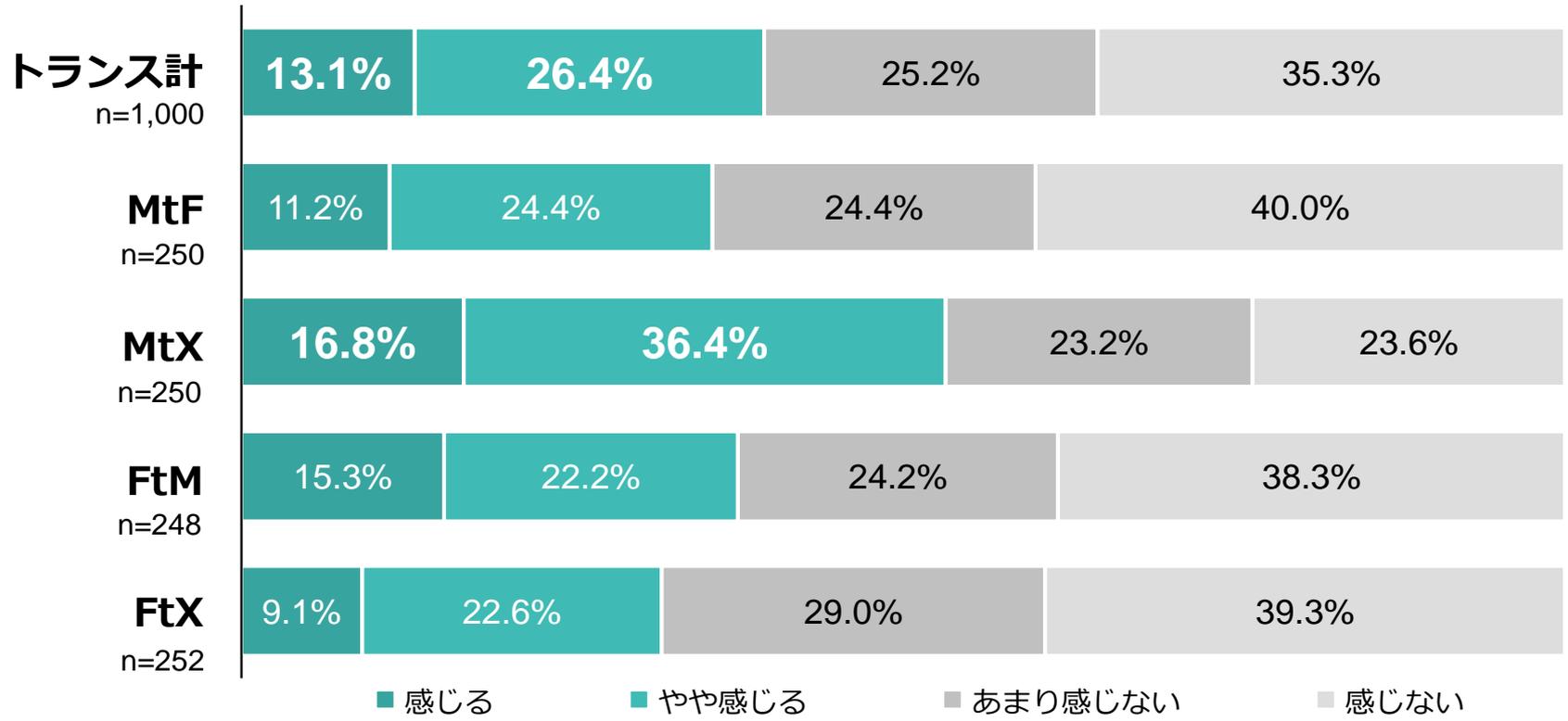
出典：「性的マイリティのトイレ利用に関するアンケート調査」TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- トランスジェンダーで、男性トイレ・女性トイレしかないトイレを利用することにストレス・不満を「感じる」「やや感じる」人は39.5%。
- MtXが53.2%と他のセクシュアリティと比べて高い。

## トランスジェンダー対象

Q6 | 男性トイレ・女性トイレしかない外出先のトイレを利用することによるどの程度ストレス・不満を感じますか。



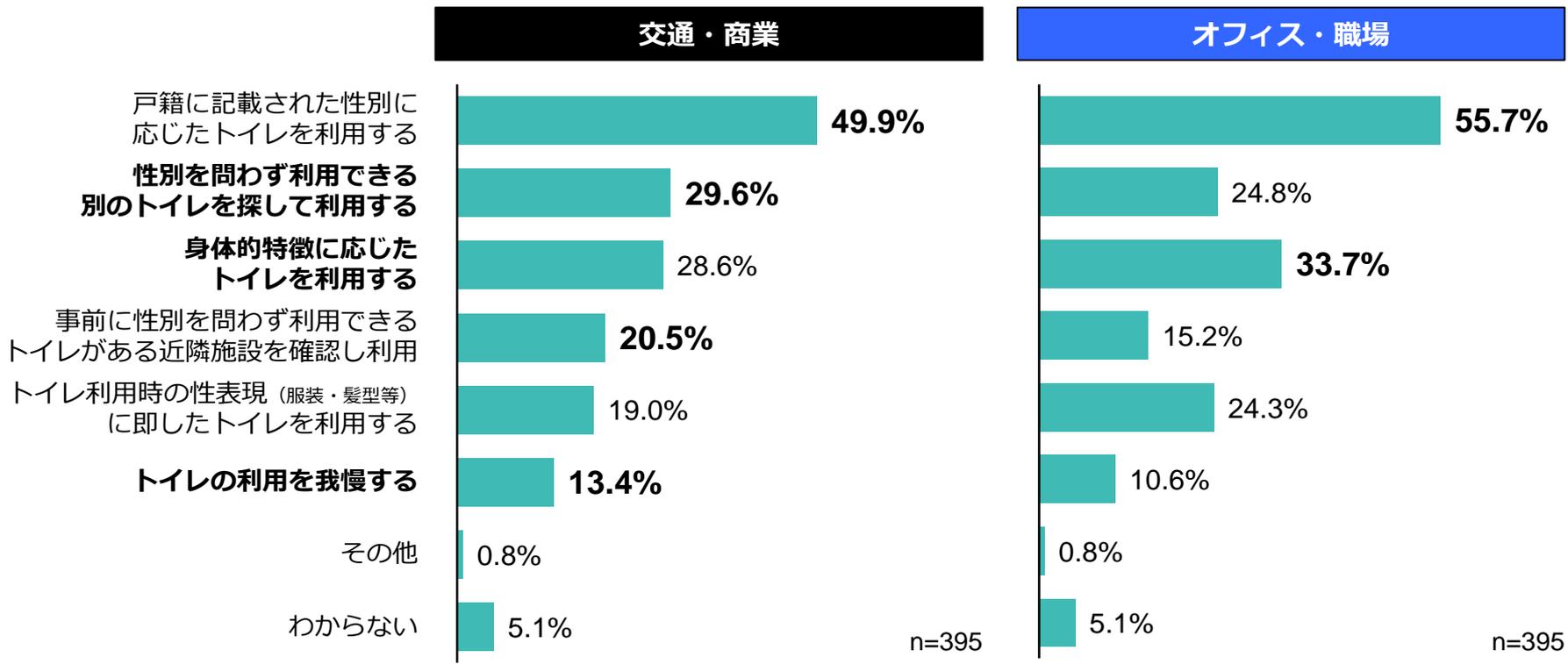
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- 戸籍の性別のトイレを利用する回答が多いが、中にはトイレの利用を我慢する人も。
- 交通・商業では性別問わず利用できるトイレを探す、オフィスでは身体的な特徴に応じたトイレを使うなどで対応している。

(複数回答)

**Q7** | **Q6でストレス・不満を「感じる」「やや感じる」と回答したトランスジェンダートイレを利用したいと思った時、最寄りのトイレに、男性トイレ・女性トイレしかない場合、あなたはどのように思いますか。**



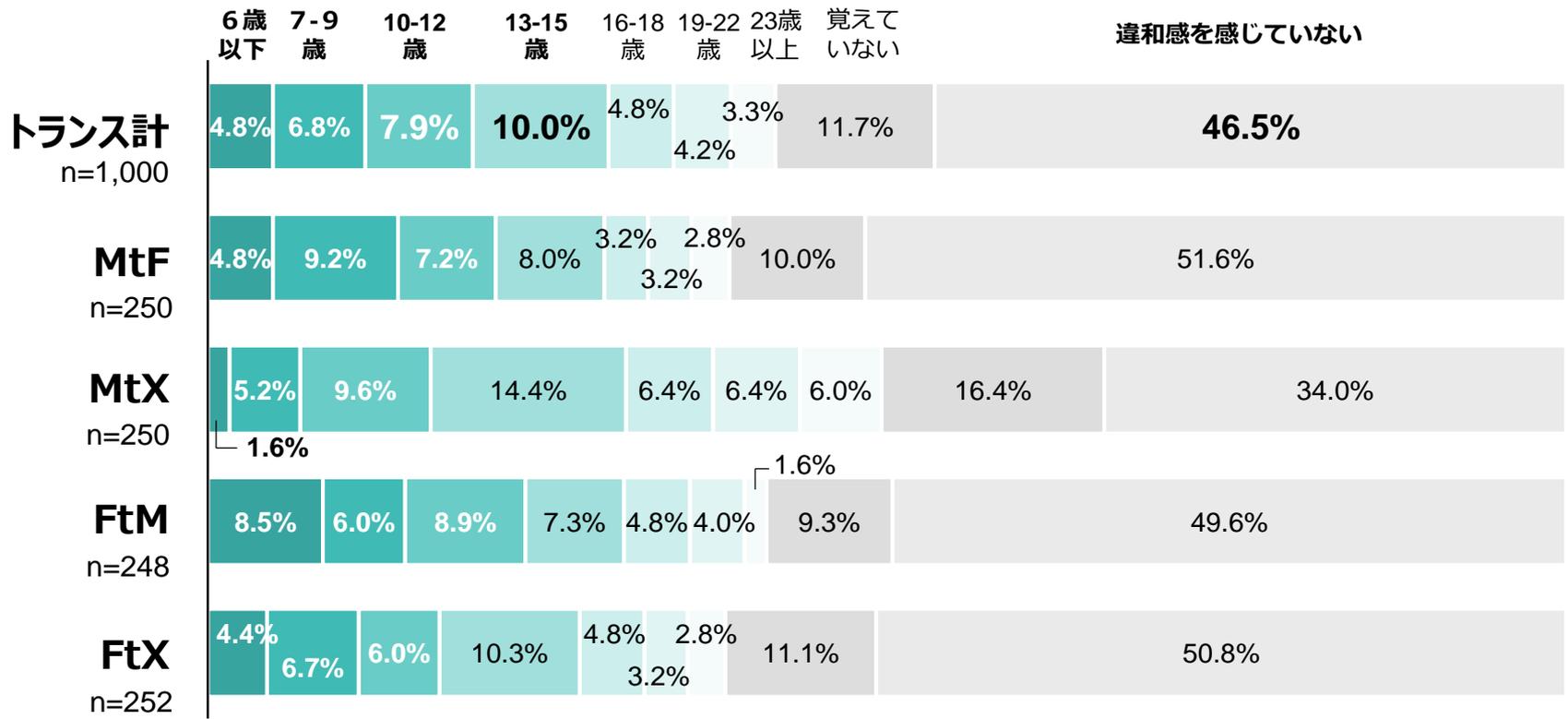
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- 46.5%が戸籍に記載された性別のトイレ利用に違和感を感じていない。
- 小学生の頃（12歳まで）には19.5%、中学生の頃（15歳まで）には29.5%が、違和感を感じている。

## トランスジェンダー対象

Q8 | 出生時に、戸籍や出生届に記載された性別のトイレの利用にいつ頃から違和感を感じていましたか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- 小学生の頃（12歳まで）では、40.0%が気がつき、26.1%が確信している。
- 中学生の頃（15歳まで）には、50.1%が気がつき、39.0%が確信している。

## トランスジェンダー対象

（それぞれ1つ選択）

Q9

出生時に、戸籍や出生届に記載された性別に対し、異なる性別を自認した時期について、ひとつずつお選びください。

		6歳以下	7-9歳	10-12歳	13-15歳	16-18歳	19-22歳	23歳以上	覚えていない
トランス計 n=1,000	気がついた時期	14.5%	10.9%	14.6%	10.1%	5.1%	3.5%	4.7%	36.6%
	確信した時期	8.7%	5.8%	11.6%	12.9%	8.9%	7.1%	9.7%	35.3%
MtF n=250	気がついた時期	16.8%	10.8%	12.4%	7.6%	2.4%	2.8%	2.4%	44.8%
	確信した時期	14.4%	7.6%	13.2%	8.4%	6.0%	4.0%	3.6%	42.8%
MtX n=250	気がついた時期	5.6%	11.6%	18.8%	18.8%	8.4%	7.6%	8.0%	21.2%
	確信した時期	3.6%	10.4%	18.4%	14.8%	10.4%	17.2%	2.0%	23.2%
FtM n=248	気がついた時期	22.6%	9.7%	12.1%	5.6%	2.8%	0.4%	1.6%	45.2%
	確信した時期	11.7%	5.6%	14.1%	9.7%	9.3%	3.2%	2.8%	43.5%
FtX n=252	気がついた時期	13.1%	11.5%	15.1%	8.3%	6.3%	3.6%	6.7%	35.3%
	確信した時期	6.7%	6.3%	8.7%	15.1%	7.9%	8.7%	14.7%	31.7%

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- トランスジェンダーはバリアフリートイレや男女共用トイレのニーズがある。特にMtXが他のセクシュアリティに比べ高い。
- MtF、MtX、FtXは出生時に割り当てられた性別、FtMは性自認の性別の回答が多い。

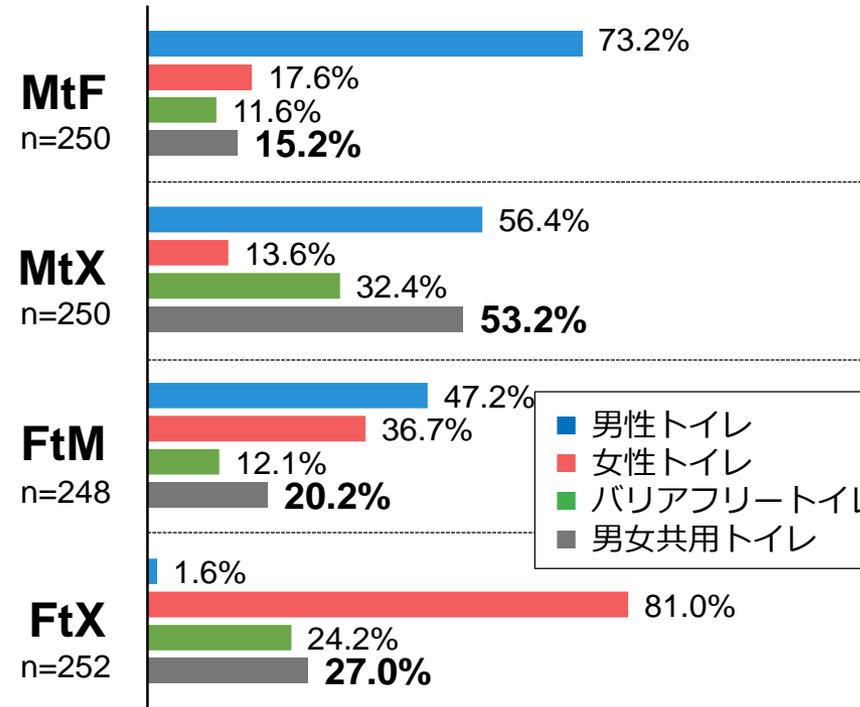
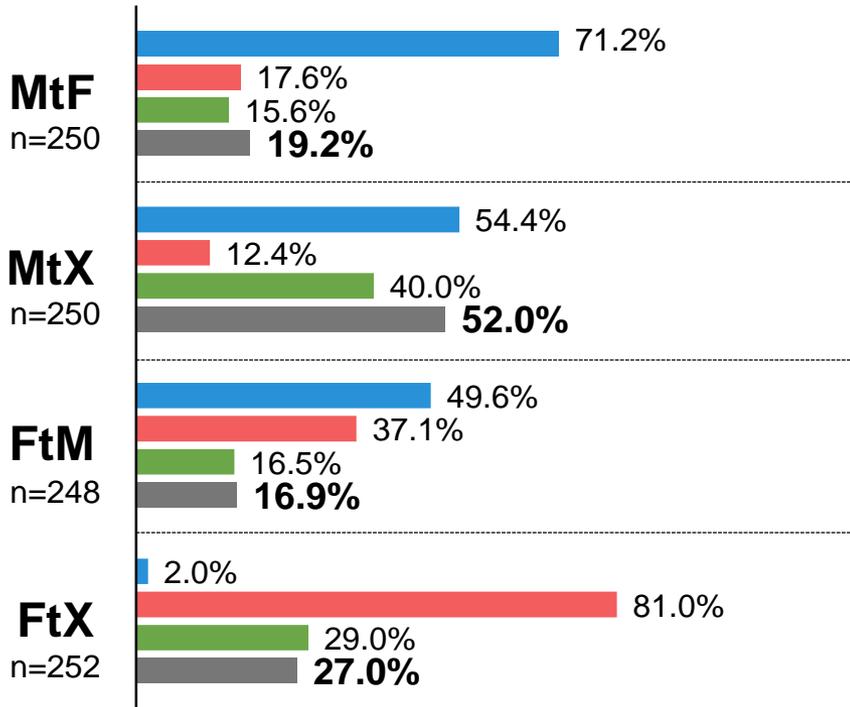
トランスジェンダー対象

(複数回答)

## Q10 | 他者の視線を気にせず自由に選べる場合どのトイレを利用したいと思いますか。

### 交通・商業

### オフィス・職場



- 男性トイレ
- 女性トイレ
- バリアフリートイレ
- 男女共用トイレ

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

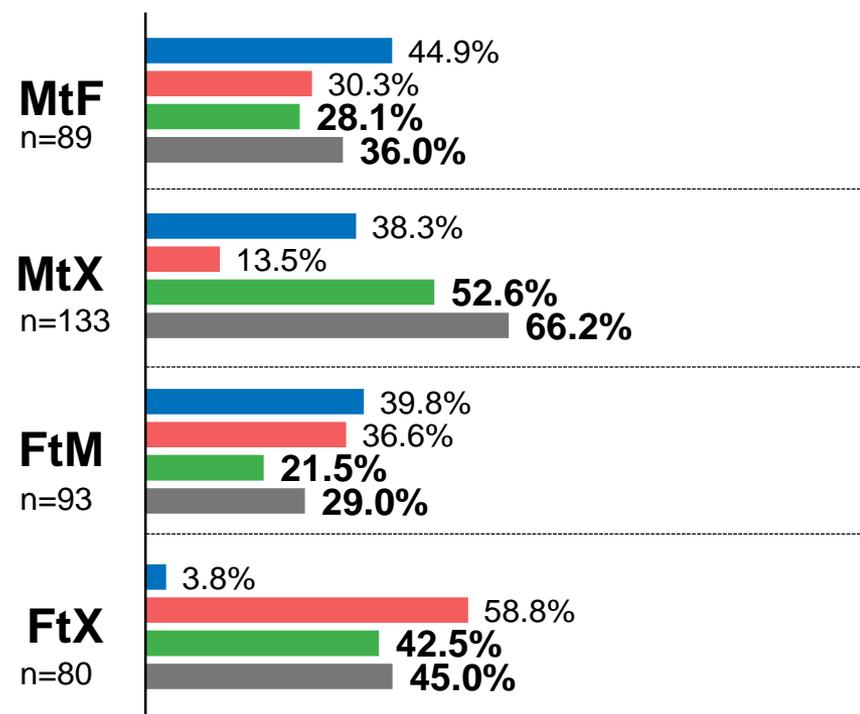
# 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

- 男女別トイレの利用にストレスを感じる人に限定するとトランスジェンダーの男女共用トイレのニーズはさらに高い。MtXの約7割、FtXも約5割が回答。
- MtF・FtMは、男女別トイレのニーズも性別を問わないトイレのニーズもある。

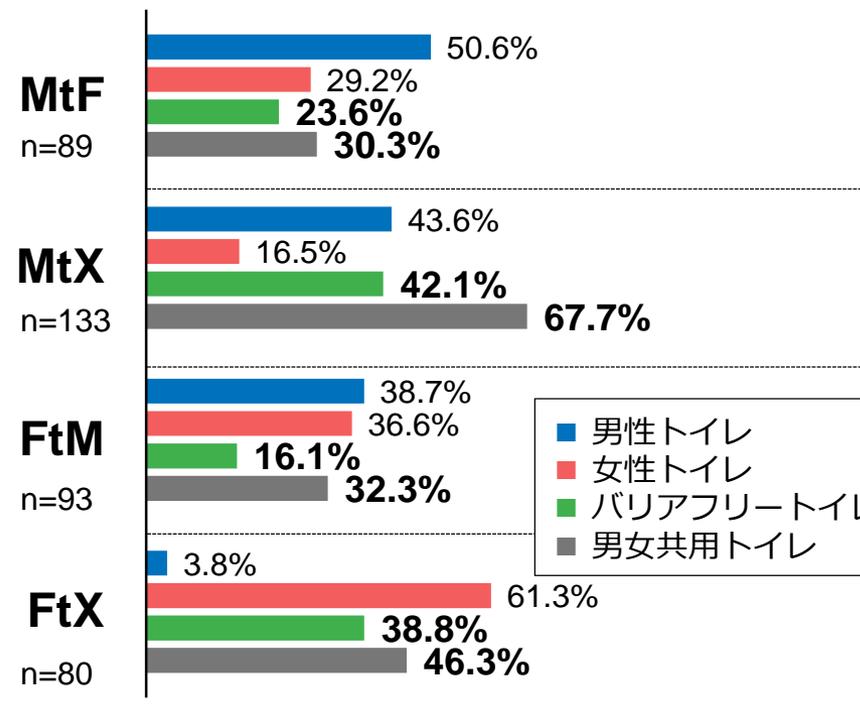
Q6でストレス・不満を「感じる」「やや感じる」と回答したトランスジェンダー（複数回答）

## Q10 | 他者の視線を気にせず自由に選べる場合どのトイレを利用したいと思いますか。

### 交通・商業



### オフィス・職場



- 男性トイレ
- 女性トイレ
- バリアフリートイレ
- 男女共用トイレ

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

## 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

### まとめ②-1

- ・トランスジェンダーは**外出先トイレ利用時に、周囲の視線や他利用者との遭遇、性別問わず利用できるトイレが限られること、『男女別トイレ』しかないことなどにストレスを感じている**。周囲の視線は、トイレに入る際や手洗い利用時にもストレスを感じている。（Q5）
- ・**男女別のトイレしかないトイレの利用に、ストレスを感じるトランスジェンダーは39.5%**。特に、**MtXが53.2%と高い**。男性トイレにも違和感を感じ、女性トイレにも入れず、トイレの選択に困っていることが推測される。（Q6）
- ・最寄りのトイレに『男女別トイレ』しかない場合、戸籍に記載された性別のトイレを利用するとの回答が多いが、中には別のトイレを探す、トイレ利用を我慢する人もいる。（Q7）
- ・中学生の頃までに戸籍に記載された性別でのトイレ利用に違和感を感じる人がいる一方、46.5%が違和感を感じていないと回答。**すべてのトランスジェンダーが『男女別トイレ』の利用に違和感を感じているわけではない**。（Q8）
- ・戸籍に記載された性別とは異なる性別を自認した時期は、中学生の頃（15歳まで）には約半数が気づいている。学校生活においてトイレ利用に限らず、体育等授業における更衣室や健康診断などさまざまな場面で戸惑いを感じ始めている可能性が高いと推測される。（Q9）

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

## 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ

### まとめ②-2

- ・トランスジェンダーは『バリアフリートイレ』や『男女共用トイレ』の利用ニーズがあり、特にMtXが他のセクシュアリティに比べて高い。(Q10)
- ・Q6で『男女別トイレ』の利用にストレスを感じると回答したトランスジェンダーに限定すると、『バリアフリートイレ』や『男女共用トイレ』のニーズはさらに高くなり、**車いす使用者配慮がなされた『バリアフリートイレ』よりも『男女共用トイレ』の方が望まれている。**(Q10: 男女別トイレにストレスを感じるトランスのみで集計)
- ・MtXは『男女共用トイレ』を望む声が約7割で最も多い。FtXは出生時に割り当てられた女性トイレが約6割と最も多いが、『男女共用トイレ』のニーズも約5割。**『男女共用トイレ』は、性自認を定型的な男性または女性にあてはめられないXジェンダーに望まれていると推測される。**(Q10: 男女別トイレにストレスを感じるトランスのみで集計)
- ・MtF、FtMは、**“出生時に割り当てられた性別”か、“性自認に基づく性別”か意見が分かれた。**また**『男女共用トイレ』のニーズも約2~3割あり、**Q5で周囲の視線が気になると回答があることから、男女別トイレが使いづらい場合の選択肢として望まれていると推測される。(Q10)
- ・すべてのトランスジェンダーが『男女共用トイレ』を望んでいるとは限らず、人により使いたいトイレは異なる。そのため、**トイレの選択に幅が持てるよう準備することが重要と考える。**

出典:「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」TOTO調べ・LGBT総合研究所協力(2024)

---

# 1 調査概要

---

## 2 調査結果

- 2-1 トイレの利用実態
- 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ
- 2-3 男女共用個室トイレの利用意向
- 2-4 男女共用個室トイレへの理解

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

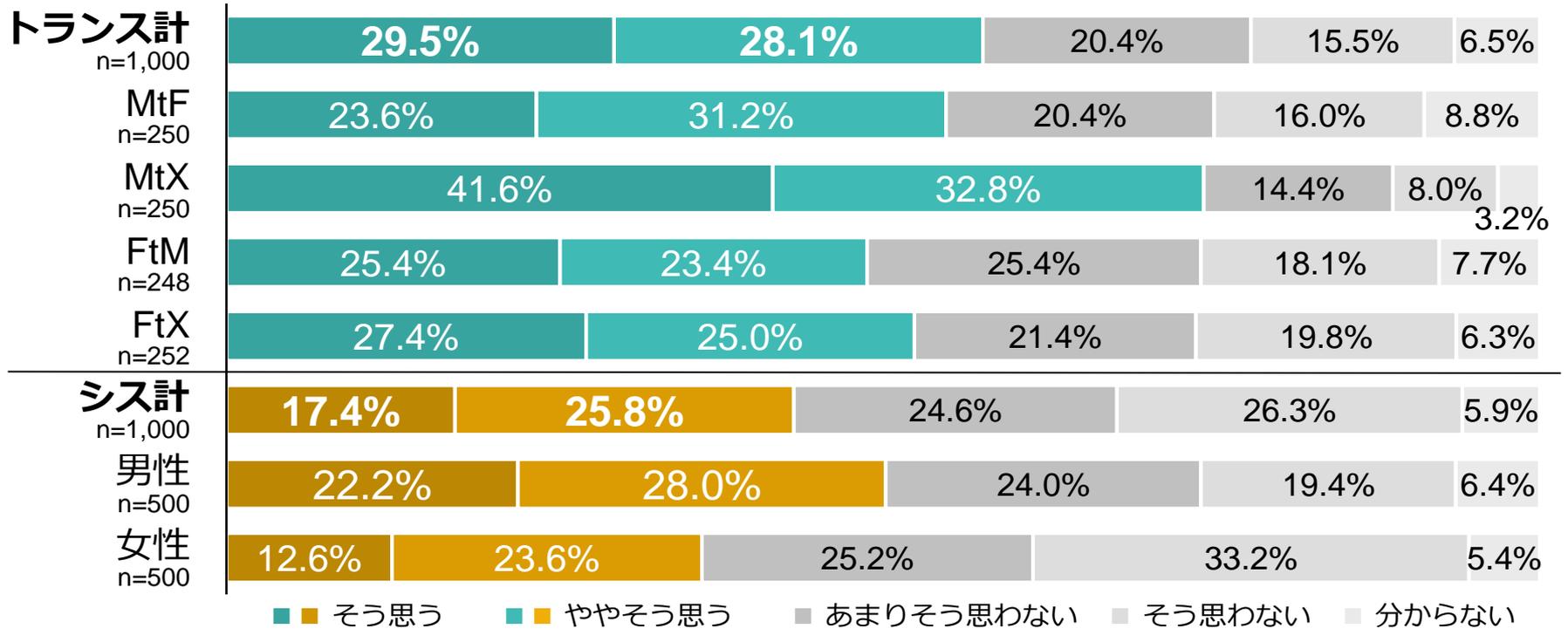
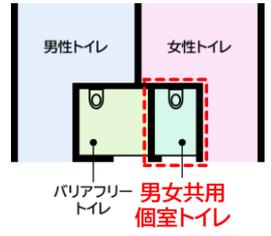
# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

- トランスジェンダーの57.6%が「男女共用個室トイレ」を利用することがあると回答、シスジェンダーに比べて高い。
- シスジェンダーは43.2%で、女性に比べ男性の方が50.2%と高い。

**交通・商業**

Q11

男性トイレ・女性トイレ・バリアフリートイレとは別に、  
図のような「男女共用個室トイレ」がある場合、  
利用することがあると思いますか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

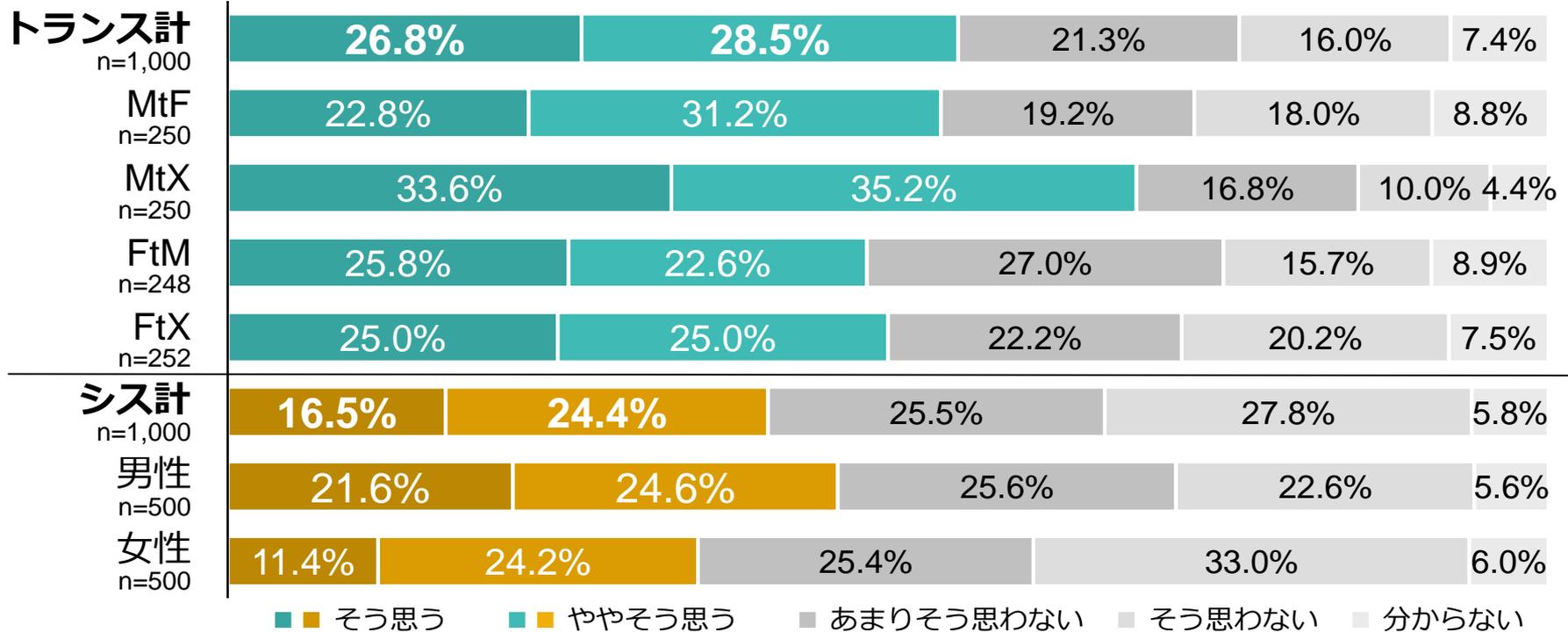
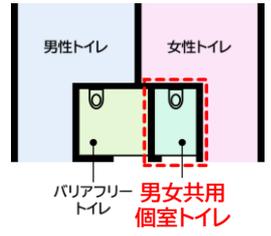
# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

- トランスジェンダーの55.3%が「男女共用個室トイレ」を利用することがあると回答、シスジェンダーに比べて高い。
- シスジェンダーは40.9%で、女性に比べ男性の方が46.2%と高い。

オフィス・職場

Q11

男性トイレ・女性トイレ・バリアフリートイレとは別に、図のような「男女共用個室トイレ」がある場合、利用することがあると思いますか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

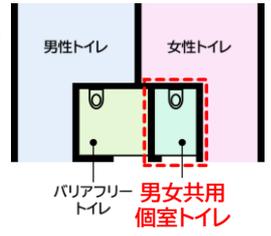
- トランスジェンダー・シスジェンダーともに「男性・女性トイレがある」が最多。
- 次いで「異性と同一トイレを使いたくないから」「汚れが気になるから」「防犯面で不安だから」が主な回答。

**交通・商業**

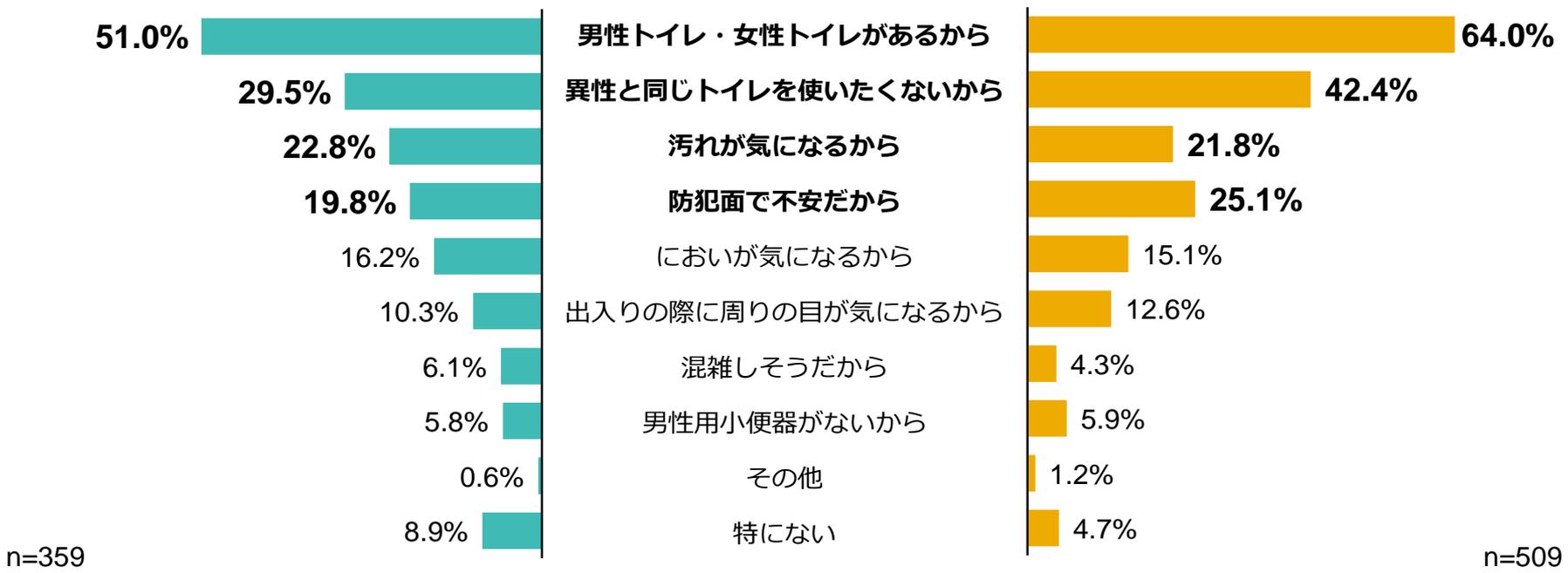
(複数回答)

Q12

Q11で男女共用個室トイレを利用することがあると思わない、あまり思わないと回答した人  
 「男女共用個室トイレ」を利用することがあると思わない、あまり思わないとお答えになった理由をお聞かせください。



トランスジェンダー	シスジェンダー
-----------	---------



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

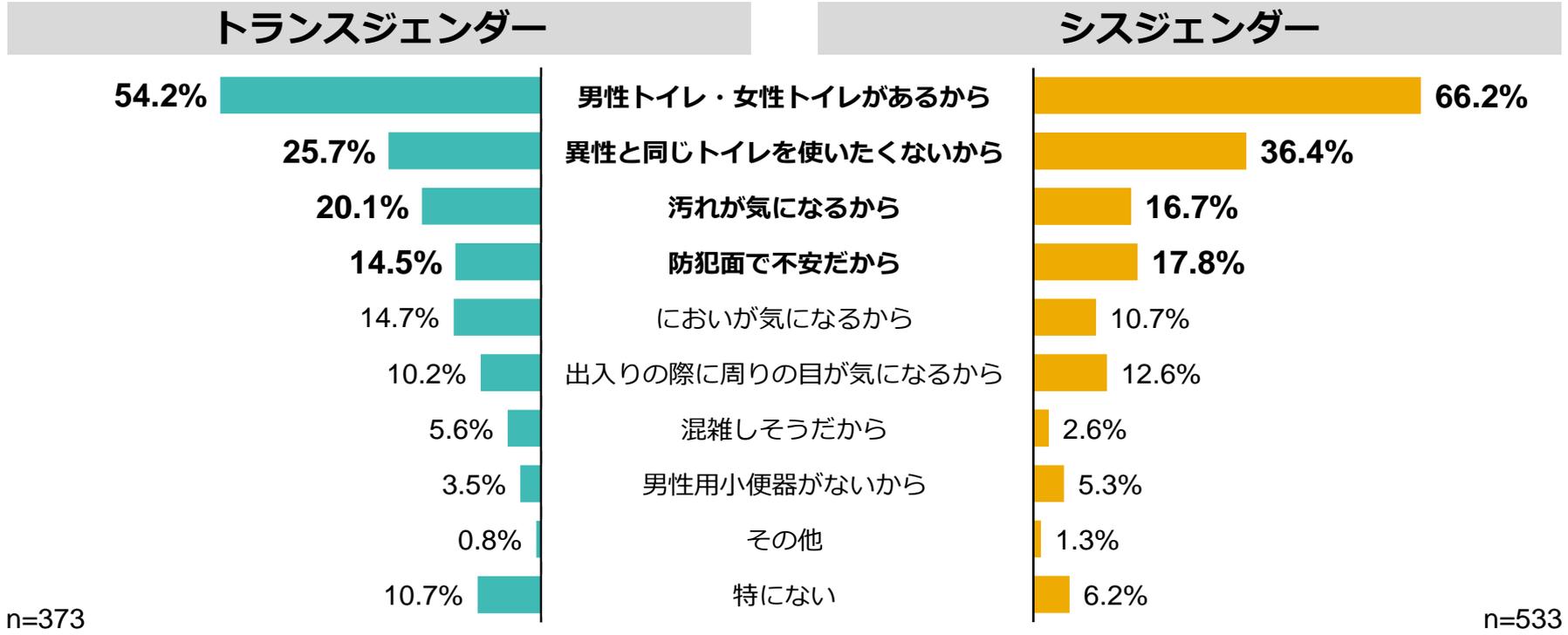
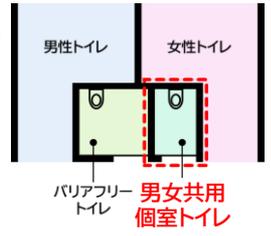
- トランスジェンダー・シスジェンダーともに「男性・女性トイレがある」が最多。
- 次いで「異性と同一トイレを使いたくないから」「汚れが気になるから」「防犯面で不安だから」が主な回答。

オフィス・職場

(複数回答)

Q12

Q11で男女共用個室トイレを利用することがあると思わない、あまり思わないと回答した人  
 「男女共用個室トイレ」を利用することがあると思わない、あまり思わないとお答えになった理由をお聞かせください。



n=373

n=533

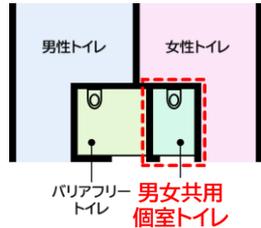
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

- トランスジェンダー・シスジェンダーともに「トイレ入口付近に防犯カメラが設置されている」「人目がある場所に（トイレが）設置されている」が上位。
- 警備員の巡回や常駐など警備員に関する要望も高い。

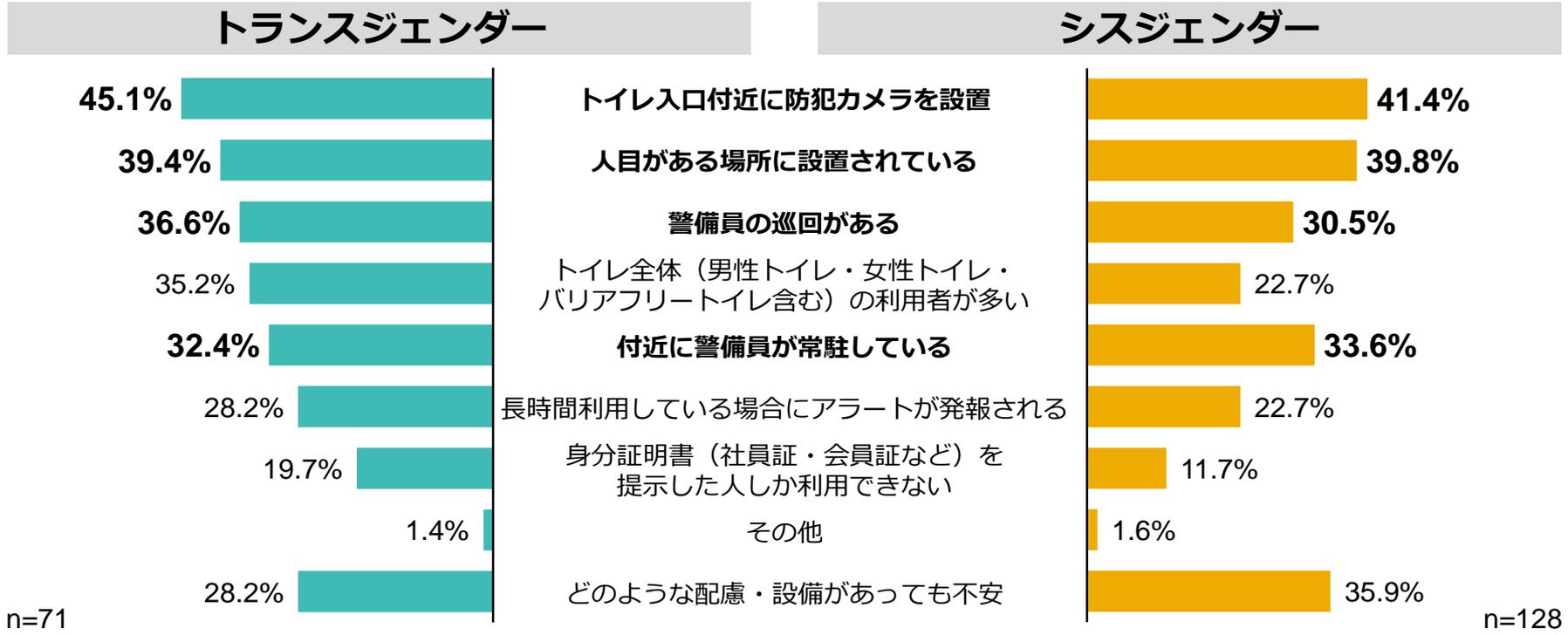
交通・商業

(複数回答)



Q13

Q12で「防犯面で不安だから」と回答した人  
 どのような設備・配慮があれば、「男女共用個室トイレ」  
 利用時の不安が軽減されると思いますか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

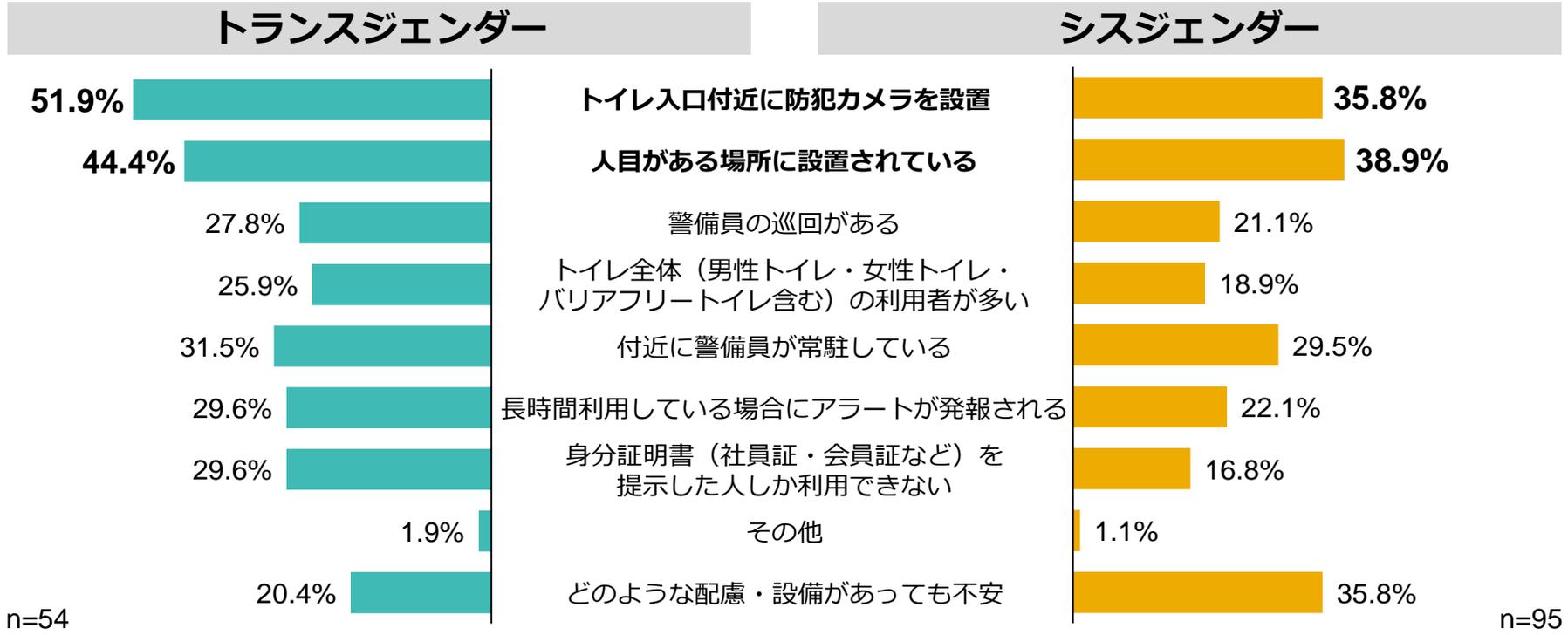
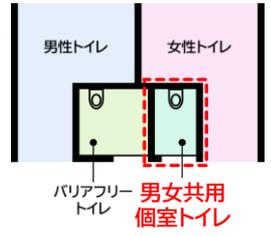
- トランスジェンダー・シスジェンダーともに「トイレ入口付近に防犯カメラが設置されている」「人目がある場所に（トイレが）設置されている」が上位。

オフィス・職場

(複数回答)

Q13

Q12で「防犯面で不安だから」と回答した人  
 どのような設備・配慮があれば、「男女共用個室トイレ」  
 利用時の不安が軽減されると思いますか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

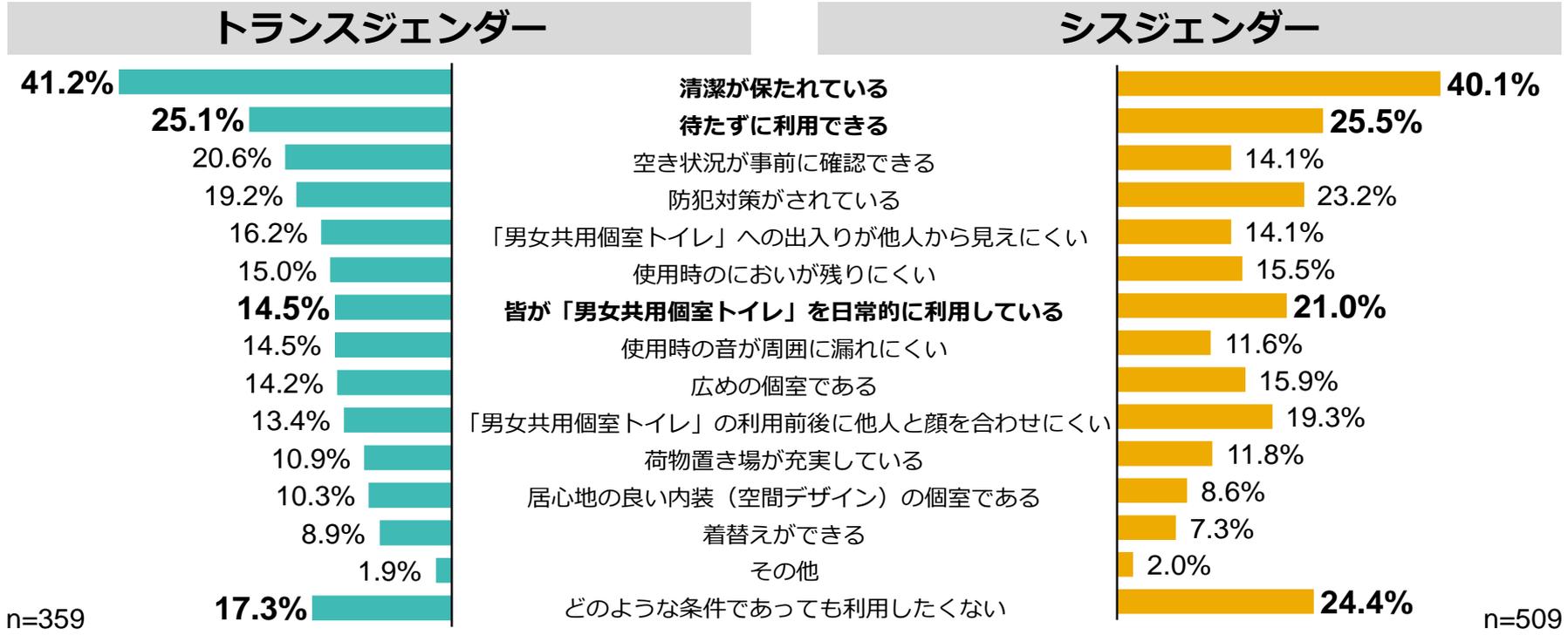
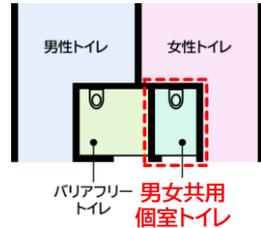
- シスジェンダーの約2割はどのような条件であっても利用したくないと回答。
- 約8割は何らかの工夫があれば利用につながるとし、「清潔が保たれている」「待たずに利用できる」「皆が男女共用個室トイレを日常的に利用している」などが挙げられた。

**交通・商業**

(複数回答)

Q14

Q11で男女共用個室トイレを利用することがあると思わない、あまり思わないと回答した人  
 どのような条件であれば「男女共用個室トイレ」を利用すると思いますか？



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

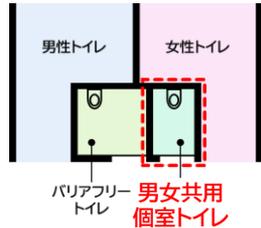
- シスジェンダーの約2割はどのような条件であっても利用したくないと回答。
- 約8割は何らかの工夫があれば利用につながるとし、「清潔が保たれている」「待たずに利用できる」「皆が男女共用個室トイレを日常的に利用している」などが挙げられた。

オフィス・職場

(複数回答)

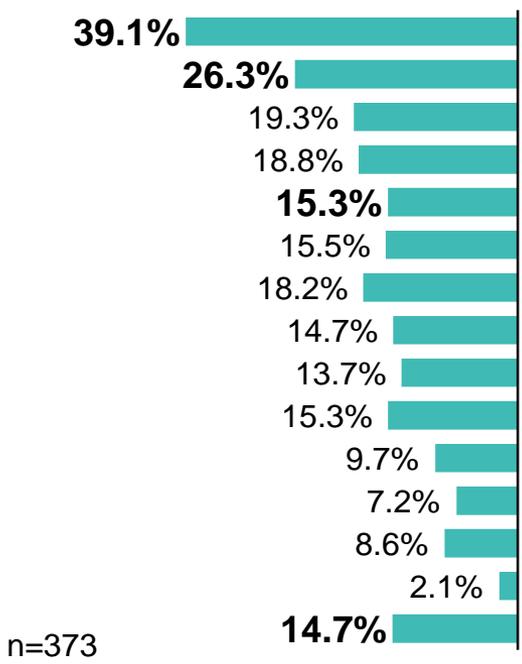
Q14

Q11で男女共用個室トイレを利用することがあると思わない、あまり思わないと回答した人  
 どのような条件であれば「男女共用個室トイレ」を利用すると思いますか？

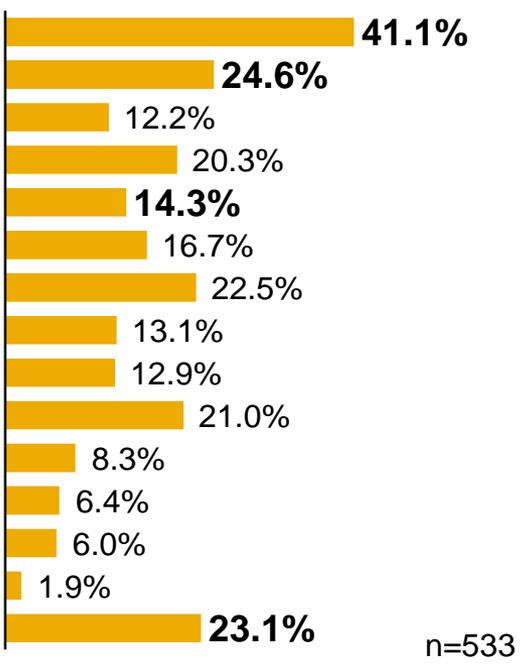


## トランスジェンダー

## シスジェンダー



- 清潔が保たれている
- 待たずに利用できる
- 空き状況が事前に確認できる
- 防犯対策がされている
- 「男女共用個室トイレ」への出入りが他人から見えにくい
- 使用時のにおいが残りにくい
- 皆が「男女共用個室トイレ」を日常的に利用している
- 使用時の音が周囲に漏れにくい
- 広めの個室である
- 「男女共用個室トイレ」の利用前後に他人と顔を合わせにくい
- 荷物置き場が充実している
- 居心地の良い内装（空間デザイン）の個室である
- 着替えができる
- その他
- どのような条件であっても利用したくない

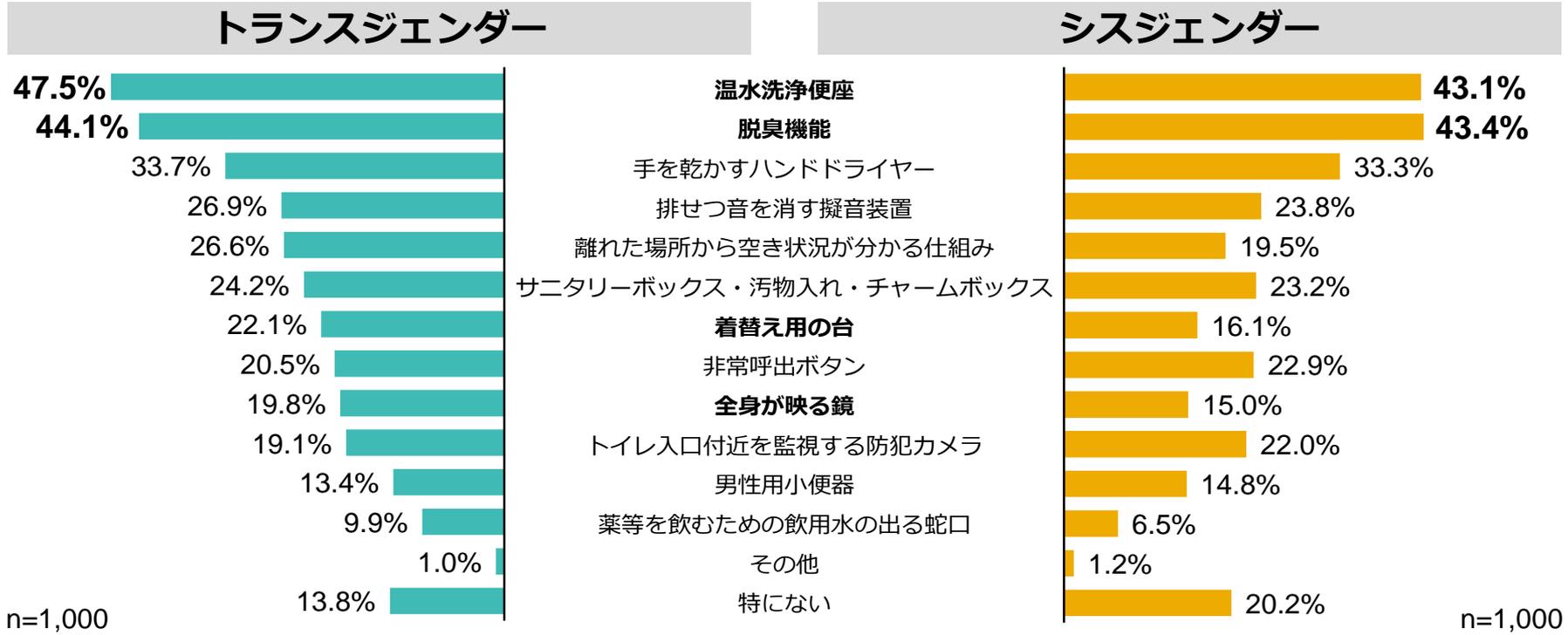
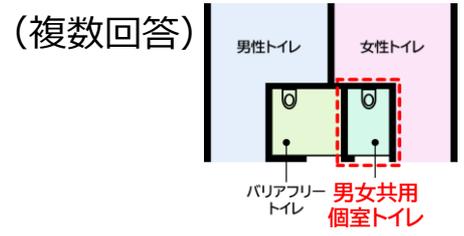


出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

- 温水洗浄便座や脱臭機能、ハンドドライヤーが挙げられ、トランスジェンダーとシスジェンダーに大きな違いはない。

Q15 | 図のような「男女共用個室トイレ」がある場合、設置して欲しいと思う設備・機能はありますか。



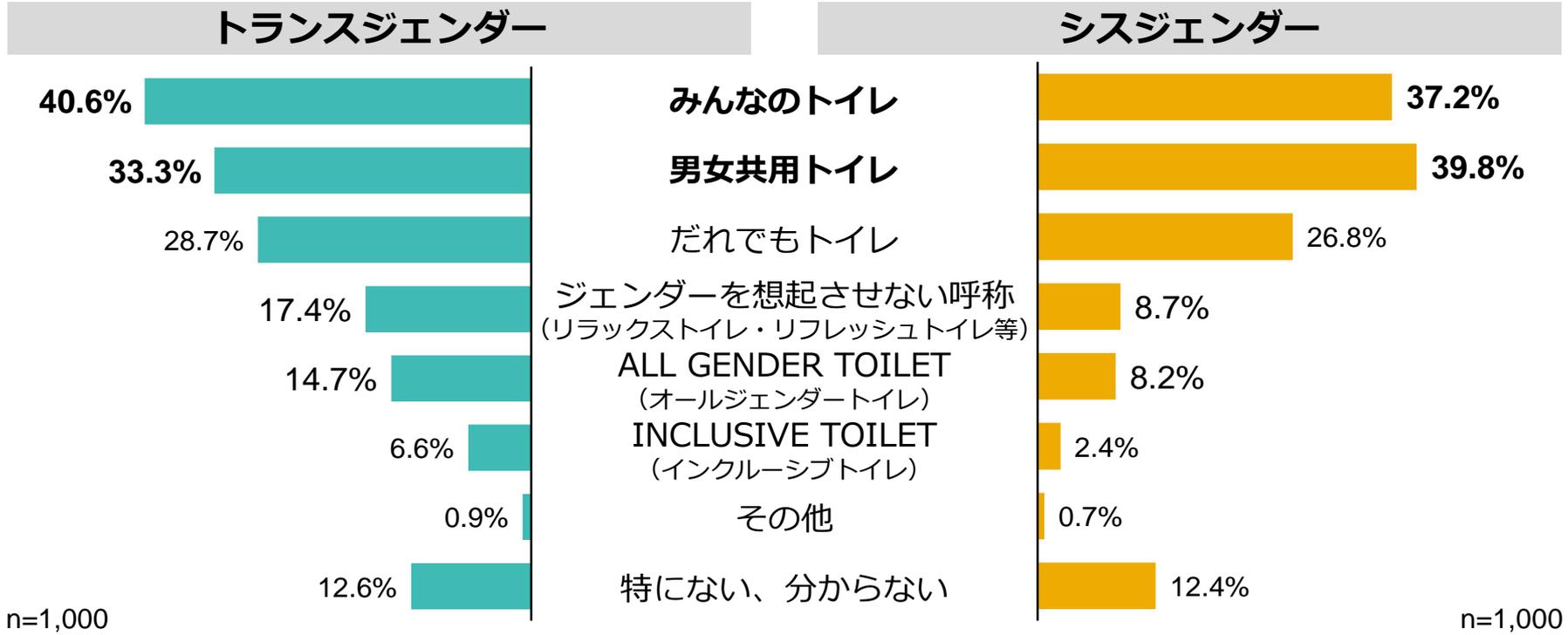
出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

- 「みんなのトイレ」「男女共用トイレ」の回答が多い。

(複数回答)

**Q16** 「性別を問わず利用できるトイレ」の呼び方として、  
 わかりやすく・利用しやすいと思うものはありますか。  
 あてはまるものをすべてお選びください。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力 (2024)

## 2-3 男女共用個室トイレの利用意向

### まとめ③

- ・男性トイレ・女性トイレ・バリアフリートイレとは別に『男女共用個室トイレ』がある場合、**トランスジェンダーの約6割は利用することがあると回答**。シスジェンダーの約4割に比べて多い。交通施設・商業施設、オフィス・職場ともに利用することがあると回答があり、**どの建物用途でも『男女共用個室トイレ』は求められている**。(Q11)
- ・一方、トランスジェンダーの約4割・シスジェンダーの約5割は『男女共用個室トイレ』を利用することはないと回答。その理由は「**男性トイレ・女性トイレがあるから**」が最も多く、『男女共用個室トイレ』の必要性を感じていない人が多い。また**異性と同一トイレを使いたくない、汚れや防犯を気にしている**声も共通の理由として挙げられている。(Q12)
- ・防犯については、**入り口付近への防犯カメラの設置や人の目に触れやすいトイレの位置にあること**で不安の軽減につながると回答。特に、交通施設・商業施設は不特定の人が利用するため**警備員の巡回や常駐が要望されている**。(Q13)
- ・『男女共用個室トイレ』を利用することがないと回答したシスジェンダーの内、約8割は何らかの工夫があれば利用すると回答。清潔で安全であることはもちろん、**「皆が男女共用個室トイレを日常的に利用している」も上位に挙がり、『男女共用個室トイレ』は広さ、設備などで利用しやすくする工夫が必要**。(Q14)
- ・『男女共用個室トイレ』にほしい設備としては温水洗浄便座、脱臭機能、ハンドドライヤーなど排せつや手洗いに必要な設備が挙げられ、シスジェンダーとトランスジェンダーに大きな違いは見られない。(Q15)
- ・トイレの呼称は「みんなのトイレ」や「男女共用トイレ」など利用者を限定しない平易な表現が好まれている。(Q16)

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

---

# 1 調査概要

---

## 2 調査結果

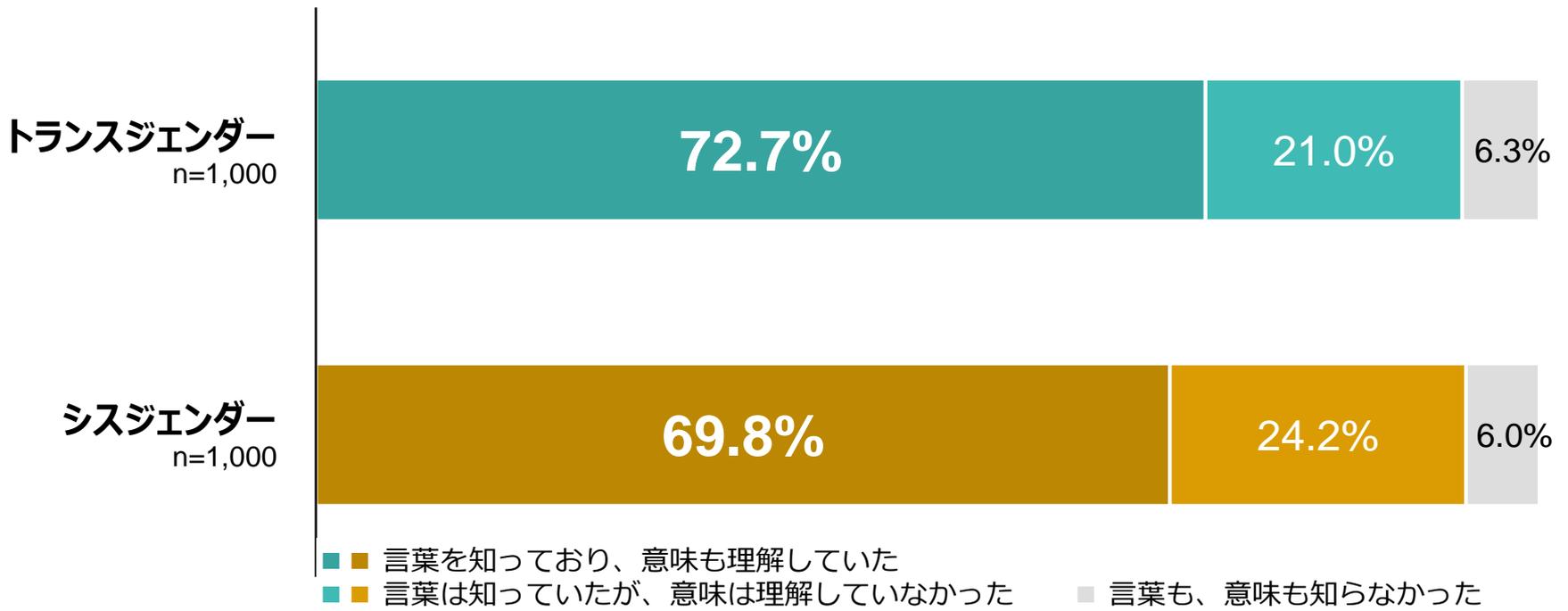
- 2-1 トイレの利用実態
- 2-2 トイレ利用のストレスと利用したいトイレ
- 2-3 男女共用個室トイレの利用意向
- 2-4 男女共用個室トイレへの理解

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-4 男女共用個室トイレへの理解

- トランスジェンダーの72.7%、シスジェンダーの69.8%がLGBTなど性的マイノリティについて言葉を知っており、意味も理解している。

Q17 | LGBTなど性的マイノリティについて、どの程度、ご存知でしたか。

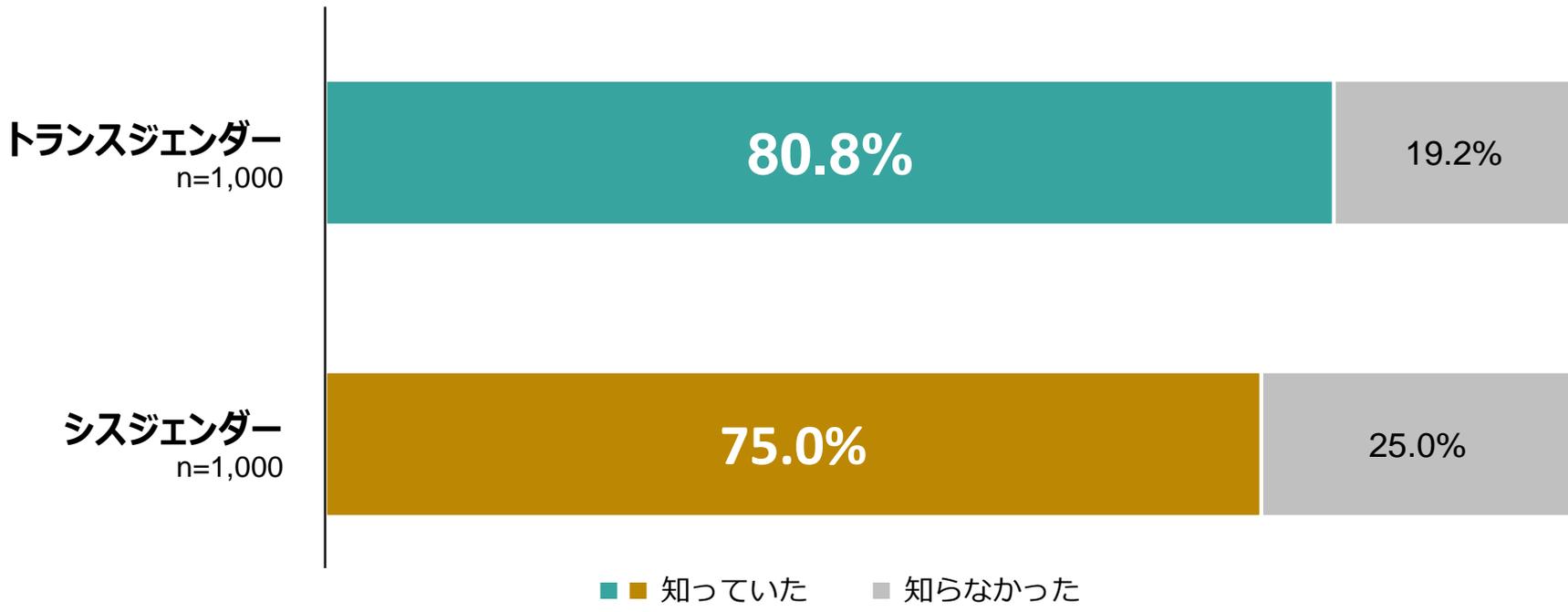


出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-4 男女共用個室トイレへの理解

- トランスジェンダーの80.8%、シスジェンダーの75.0%がトランスジェンダーの中には男性トイレ・女性トイレを利用しづらく、困っている人がいることを知っている。

**Q18** | 戸籍や出生届に記載された性別と異なる性を自認される「トランスジェンダー」の中には、男性トイレ・女性トイレを利用しづらく、困っている人もいるということを、ご存知でしたか。

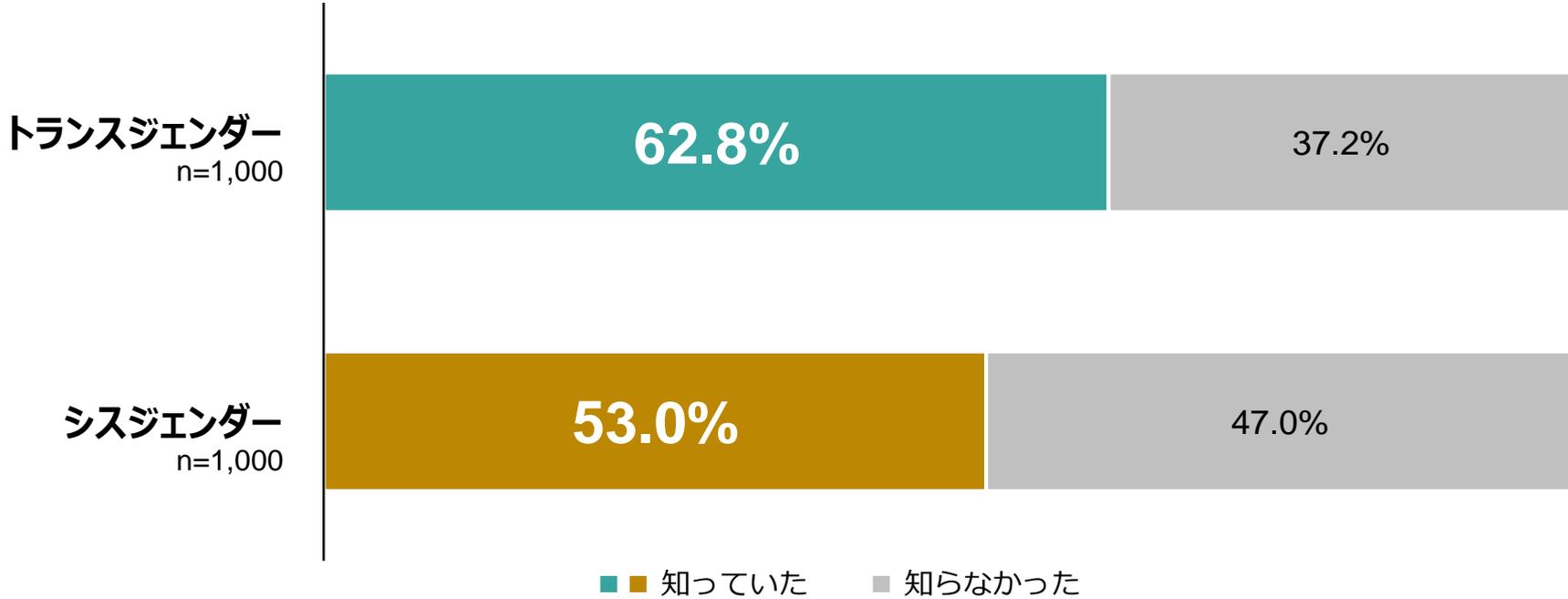


出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-4 男女共用個室トイレへの理解

- トランスジェンダーの62.8%、シスジェンダーの53.0%が異性による介助・同伴でトイレを利用する場合に、性別を問わず利用できるトイレが少なくて困っていることを知っている。

**Q19** | お子様や高齢者、発達障がい、知的障がいのある方などの異性による介助・同伴で利用する場合に、性別を問わず利用できるトイレが少なくて困っているということをご存知でしたか。

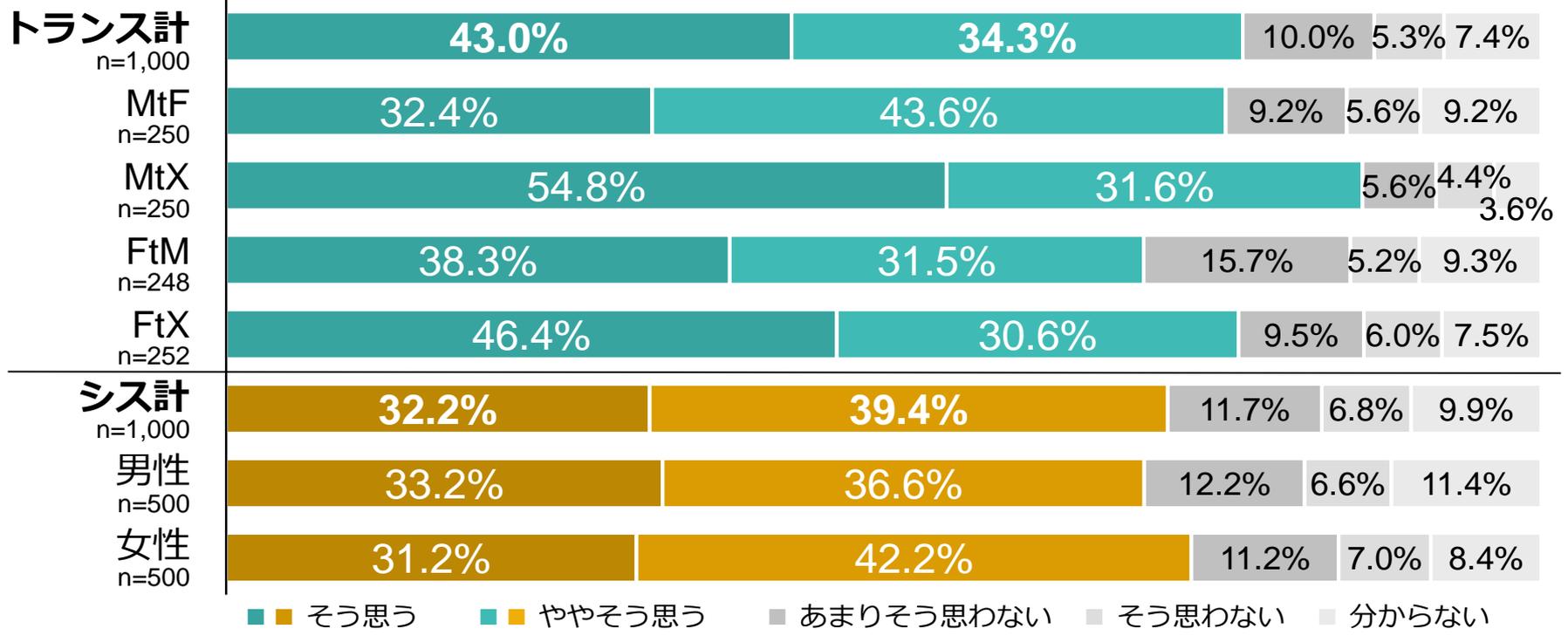
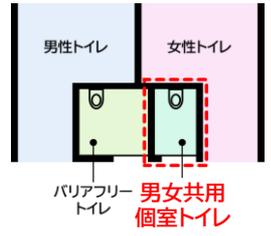


出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

# 2-4 男女共用個室トイレへの理解

- トランスジェンダーの77.3%、シスジェンダーの71.6%が、性別を問わず利用できる「男女共用個室トイレ」が普及していくことに賛意。
- シスジェンダーでは、回答に大きな男女差は見られない。

**Q20** | 性別を問わず利用できる「男女共用個室トイレ」が公共トイレとして普及していくことに、賛成ですか。



出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

## 2-4 男女共用個室トイレへの理解

### まとめ④

- ・性的マイノリティのみならず、お子様や高齢者、発達障がい・知的障がいのある方など、異性による介助・同伴でトイレを利用する場合に、**性別を問わず利用できるトイレが少ないことに困っている人がいることに対し、理解が広がっている。**（Q18・Q19）
- ・トランスジェンダー、シスジェンダー共に、自分自身が『男女共用個室トイレ』を使う意向がなくても、さまざまな人が利用しやすい『**男女共用個室トイレ**』が、**公共トイレに普及することに賛意を示している。**（トランスジェンダー：77.3%、シスジェンダー：71.6%）（Q20）

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

**パブリックトイレはさまざまな人が利用しニーズも多様なため、  
トイレの選択肢を広げることが求められています。**

**また、現場の特性や利用者に応じて  
一人でも多くの人が利用しやすいトイレを整備していくことに加え、  
さまざまな人がトイレで抱える困りごとを知るなど  
利用者同士の相互理解が大切です。**

出典：「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」 TOTO調べ・LGBT総合研究所協力（2024）

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**